

東京女子大学学則

(1948年3月25日制定)

改正	1950年 3月 1日	1989年 7月21日	1996年12月19日	2003年 7月31日	2010年 1月21日	2016年 9月15日
	1951年 1月31日	1989年 9月22日	1997年 1月23日	2003年10月16日	2010年 1月25日	2016年12月15日
	1954年 2月15日	1990年 3月16日	1997年12月18日	2003年12月18日	2011年 1月20日	2017年 2月16日
	1958年 2月28日	1990年 7月20日	1998年12月17日	2004年 7月15日	2011年 4月21日	2017年 3月 9日
	1961年 3月10日	1991年 3月15日	1999年12月22日	2004年11月18日	2011年12月15日	
	1965年 9月15日	1992年 1月17日	2000年 1月20日	2005年 3月10日	2012年 3月26日	
	1971年 1月29日	1992年 2月21日	2000年 3月21日	2005年 7月21日	2012年 9月20日	
	1975年11月28日	1992年10月15日	2001年 1月25日	2005年12月15日	2012年12月20日	
	1985年 2月22日	1992年11月19日	2001年 2月22日	2006年12月21日	2013年 9月19日	
	1985年 3月29日	1993年 2月23日	2002年 1月24日	2007年 3月16日	2014年 1月16日	
	1986年 5月30日	1993年12月21日	2002年 2月21日	2007年12月20日	2014年 7月17日	
	1987年 1月30日	1994年 2月17日	2002年 3月11日	2008年 2月21日	2015年 1月15日	
	1987年 4月 1日	1995年 2月16日	2002年 5月16日	2008年12月24日	2016年 1月21日	
	1988年 1月29日	1995年12月14日	2003年 1月16日	2009年 1月15日	2016年 2月18日	
	1989年 3月24日	1996年 2月29日	2003年 4月17日	2009年 2月19日	2016年 4月21日	

第1章 目的

第1条 東京女子大学（以下「本学」という。）は、キリスト教を教育の根本方針となし、学問研究及び教育の機関として、女子に高度の教養を授け、専門の学術を教授研究し、もって真理と平和を愛し人類の福祉に寄与する人物を養成することを目的とする。

第1条の2 本学は、前条の目的を達成するために、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の点検及び評価項目、実施体制、実施方法等に関する規程は、別に定める。

第2章 綱領

第2条 本学は、その教育の基礎として、キリスト教に関する科目を設け、また宗教的行事を行う。

第3章 学部及び大学院

第3条 本学に現代教養学部を置く。

2 現代教養学部は、広い識見と創造性を有し、専門性をもつ教養人として、現代社会の多様な課題を主体的に解決しうる人物の育成を目的とする。

第3条の2 本学に大学院を置く。

2 大学院学則は、別に定める。

第4条 現代教養学部は、国際英語学科、人文学科、国際社会学科、心理・コミュニケーション学科及び数理科学科を置く。

2 国際英語学科に、国際英語専攻を置く。

国際英語学科は、国際共通語としての英語とその言語文化の広がりをもつことを専門的に考究し、英語の実践的かつ高度な運用能力と発信力を身に付けることを通して、世界の諸地域や国際化が進む日本国内の各地域で社会の発展に貢献できる人物の育成を目的とする。

3 人文学科に哲学専攻、日本文学専攻及び歴史文化専攻を置く。

人文学科は、哲学、文学、史学の分野を横断的に学ぶことを通して、人間の文化に関わる基礎的知識を広く修め、考究の姿勢、応用能力を社会のあらゆる分野に生かし、文化の創造と社会の発展に貢献できる人物の育成を目的とする。

4 国際社会学科に、国際関係専攻、経済学専攻、社会学専攻及びコミュニティ構想専攻を置く。

国際社会学科は、国際関係、経済学、社会学、コミュニティ構想の分野を横断的に学ぶことを通して、現代社会を世界的な視野でとらえ、豊かな教養と専門性を備えた地球市民として、地域社会や国際社会で活躍できる人物の育成を目的とする。

5 心理・コミュニケーション学科に、心理学専攻及びコミュニケーション専攻を置く。

心理・コミュニケーション学科は、心理学、コミュニケーションの分野を横断的に学ぶことを通して、分析能力、問題解決能力を養い、人間・社会・世界を科学的に探求し、現代に生きる人間のあり方を考究・提言できる人物の育成を目的とする。

6 数理科学科に、数学専攻及び情報理学専攻を置く。

数理科学科は、理系学問の基礎となる数学の修得を基に、数学、情報科学、応用数理学の分野を横断的に学ぶことを通して、数理科学的知識と柔軟な論理的思考力及び技術をもって社会と科学技術の発展に寄与できる人物の育成を目的とする。

第5条 学部及び学科の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	収容定員
現 代 教 養 学 部	国 際 英 語 学 科	155 名	620 名
	人 文 学 科	200 名	800 名
	国 際 社 会 学 科	270 名	1,080 名
	心理・コミュニケーション学科	195 名	780 名
	数 理 科 学 科	70 名	280 名
総 計		890 名	3,560 名

第4章 教職員及び会議

第6条 本学に学長を置く。

2 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

第6条の2 本学に副学長を置くことができる。

2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

第6条の3 学部に学部長を置く。

2 学部長は、学長を助け、学部の校務をつかさどる。

第7条 本学に、一定数の教授、准教授、講師及び助教を置く。

第7条の2 本学に、教育研究の円滑な実施に必要な業務を行うため助手を置く。

第7条の3 本学に、事務処理のため一定数の職員を置く。

第8条 本学の教学にかかわる全学的に重要な事項を審議するため大学評議会を置く。

2 大学評議会は、次の委員をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 副学長（副学長を置く場合）
- (3) 学部長
- (4) 全学共通教育部長
- (5) 大学院合同研究科会議議長
- (6) 図書館長
- (7) 大学宗教委員長
- (8) 比較文化研究所長
- (9) 女性学研究所長
- (10) 将来計画推進委員会副委員長
- (11) 自己点検・評価委員長
- (12) 教授会の選出に基づき、学長が委嘱する教授2名
- (13) 学長が選任する教授2名
- (14) 事務局長

3 大学評議会は、次に掲げる事項について学長が理事会に建議するに当たり審議し、意見を述べるものとする。

- (1) 東京女子大学学則（以下「学則」という。）及び東京女子大学大学院学則その他重要な規則の制定並びに改廃に関する事項

- (2) 教育研究に関する事業計画にかかわる事項
 - (3) 学部、学科及び専攻並びに大学院研究科及び専攻の設置及び廃止に関する事項
 - (4) 教員組織の編成方針並びに教員の採用及び昇任に関する教育研究業績の審査にかかわる事項
 - (5) 大学の教育研究に関する長期展望にかかわる事項
 - (6) 前5号に掲げる事項のほか、教育研究に関する重要な事項で、大学評議会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項
- 4 大学評議会は、学長が次の事項について決定するに当たり審議し、意見を述べるものとする。
- (1) 教育課程の編成方針に関する事項
 - (2) 学生の厚生補導の基本方針
 - (3) その他学部及び大学院に共通する教育研究に関する重要事項及び学長の諮問する事項

第8条の2 学部に教授会を置く。

- 2 教授会は、教授、准教授及び講師をもって組織する。
- 3 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり審議し、意見を述べるものとする。
- (1) 学生の入学、卒業に関する事項
 - (2) 学位の授与に関する事項
 - (3) 前2号に掲げる事項のほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項
- 4 教授会は、前項に規定するもののほか、学長又は学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長又は学部長の求めに応じ、意見を述べることができる。

第5章 教育課程及び卒業の要件

第9条 授業科目を分けて、次のとおりとする。

カリ 学 共 通 キ ュ ラ ム	リベラル・スタディーズ	(1) 総合教養科目
		(2) 挑戦する知性科目
		(3) キリスト教学科目
	アカデミック・スキル科目	(4) 外国語科目
		(5) 日本語科目
		(6) 情報処理科目
(7) 学科科目		
(8) 教職課程科目		
(9) 学芸員課程科目		

- 2 前項の他、第39条により受け入れる外国人留学生に対しては、外国人留学生特別科目を置くことができる。
- 3 授業科目及びその単位数は別表第1のとおりとする。

第10条 1年間の授業を行う期間は、35週にわたることを原則とする。

第10条の2 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上特別の必要があると認められる場合は、これらの期間より短い期間において授業を行うことができる。

第11条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

- (1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習については、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、授業科目により、15時

間の授業をもって1単位とすることができる。

(3) 実験及び実習については、30時間の授業をもって1単位とする。

(4) 外国語科目については、30時間の授業をもって1単位とする。

2 一の授業科目について、講義、演習、実験又は実習のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前項各号に規定する基準により算定した時間の授業をもって1単位とする。

3 卒業論文、教育実習等については、別に定める基準による。

第11条の2 修業年限は4年とし、在学年限は、休学期間を除き8年とする。

2 第30条の規程により2年次に編入学又は学士入学した者の修業年限は3年とし、在学年限は、休学期間を除き6年とする。

3 第30条の規程により3年次に編入学又は学士入学した者の修業年限は2年とし、在学年限は、休学期間を除き4年とする。

第12条 修得すべき授業科目と単位数は、次のとおりとする。

全学共通カリキュラム	リベラル・スタディーズ	総合教養科目	必修科目及び選択必修科目	18単位
		キリスト教学科目	必修科目及び選択必修科目	6単位
	アカデミック・スキル科目	外国語科目	国際英語学科 第一外国語 必修科目及び選択必修科目 第二外国語 選択必修科目	7単位 4単位 計 11単位
			人文学科 国際社会学科 心理・コミュニケーション学科 数理科学科 第一外国語 必修科目及び選択必修科目 第二外国語 選択必修科目	9単位 4単位 計 13単位
	情報処理科目	必修科目	4単位	
学科科目(自学科)		必修科目、選択必修科目、選択科目合わせて		
		国際英語学科		64単位
		人文学科		64単位
		国際社会学科		64単位
		心理・コミュニケーション学科		64単位
		数理科学科		72単位
自由選択科目				
		国際英語学科		27単位
		人文学科		25単位
		国際社会学科		25単位
		心理・コミュニケーション学科		25単位
		数理科学科		17単位
総計				130単位

2 外国人正規課程留学生在が修得すべき授業科目と単位数は、別に定める。

第13条 学生は、毎年所定期間内に履修しようとする授業科目を登録しなければならない。

2 1年間に履修科目として登録することができる単位数の上限は、原則として44単位とする。

第14条 単位の認定は、試験による。

2 授業科目を履修し、試験に合格した者には、単位を与える。

3 試験の種類は、定期試験及び定期試験以外の方法（レポート、授業時に行う随時の試験等）とする。ただし、卒業論文の試験方法は、論文審査及び口述試験によるものとし、Final Presentation の試験方法は、Presentation Essay に基づく口頭発表の審査による。

4 第 32 条に定める学費を未納の者は、定期試験を受けること及び卒業論文又は Final Presentation における Presentation Essay を提出することができない。

第 15 条 授業科目の成績評価は、S、A、B、C、F の 5 段階で表し、S、A、B、C を合格、F を不合格とする。

第 15 条の 2 本学が教育上有益と認めるときは、他の大学等において修得した次の単位等について、合わせて 60 単位を超えない範囲で、本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を与えることができる。

- (1) 本学と日本国内外の他の大学との協定に基づき、当該大学において履修した授業科目の単位
- (2) 第 27 条の 2 により、外国の大学において履修した授業科目の単位
- (3) 本学が外国の大学とあらかじめ協議の上当該大学において実施する語学研修及び教養講座における学修、並びに本学があらかじめ認めた外国の大学が実施する語学研修における学修
- (4) 本学に入学する前に在学した大学又は短期大学において履修した授業科目の単位
- (5) 文部科学大臣が別に定める技能審査等における成果に係る学修で、本学が大学教育に相当する水準を有すると認めたもの

第 16 条 4 年以上在学して所定科目につき 130 単位以上を修得した者に、教授会の議を経て、学長がその意向を参酌して卒業を認定し、学士の学位を授与する。

第 17 条 現代教養学部の国際英語学科、人文学科、国際社会学科及び心理・コミュニケーション学科を卒業した者に学士（教養）、数理学科を卒業した者に学士（理学）の学位を授与する。

第 17 条の 2 教育職員免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法（昭和 24 年法律第 147 号）及び教育職員免許法施行規則（昭和 29 年文部省令第 26 号）に定める所要の単位を修得しなければならない。

2 教育職員免許状授与資格を取得させるための課程として認定を受けた学科並びに免許状の種類及び教科は、次のとおりとする。

	免許状の種類	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
学 科	国際英語学科	外国語(英語)	外国語(英語)
	人文学科	宗 教 国 語 社 会	宗 教 国 語 地理歴史 公 民
	国際社会学科	社 会	地理歴史 公 民
	数理学科	数 学	数 学 情 報

第 17 条の 3 学芸員の資格を取得しようとする者は、学芸員資格取得のために必要な授業科目の単位を修得しなければならない。

2 学芸員資格取得のために必要な授業科目及びその単位数は、別に定める。

第 17 条の 4 本学に日本語教員養成課程を置く。

2 日本語教員養成課程を修了しようとする者は、別表第 1 の 2 に定める課程の修了に必要な授業科目の単位を修得しなければならない。

3 日本語教員養成課程を修了した者には、卒業時に日本語教員養成課程修了証を授与する。

第6章 学年、学期及び休業日

第18条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第19条 学年を分けて、次の2学期とする。

- (1) 前期 4月1日から9月20日まで
- (2) 後期 9月21日から翌年3月31日まで

2 前項に定める前期の終了日及び後期の開始日については、学長が年度により変更することができる。

第20条 定期休業は、次のように定める。

- (1) 土曜日
- (2) 日曜日
- (3) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (4) 創立記念日 4月30日
- (5) 夏期休業
- (6) 冬期休業

2 前項第5号及び第6号の休業日の期間は、年度により学長が別に定める。

3 必要がある場合は、学長は、第1項の休業日を変更し、又は臨時に休業日を定めることができる。

第7章 入学、休学、転学科、退学及び外国留学

第21条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、特別の必要がある場合は、入学の時期を後期の始めとすることができる。

第22条 本学に入学することのできる者は、次のとおりとする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

第23条 入学志願者は、所定の書類に入学検定料を添えて願い出なければならない。

2 入学検定料の額は別表第2のとおりとする。

第24条 入学志願者に対しては、選抜試験を行う。

第24条の2 本学に推薦入学制度を設ける。

2 推薦入学に関する規定は別に定める。

第25条 選抜試験に合格した者は、所定の納入金を納めて入学の許可を得なければならない。

第26条 入学を許可された者は、所定の誓約書、保証人連署の保証書及び住民票の写しを提出しなければならない。

2 保証人は、父母又はこれに代わる成年者で、学生在学中の一切の責任を負うものとする。

第27条 病気その他やむをえない事由により修学できないときは、学期又は学年を単位として

休学を願い出ることができる。

- 2 休学しようとする者は、保証人連署の上その事由を記して願い出て許可を得なければならない。
- 3 休学は、当該学年限りとする。ただし、事由のある場合は、引き続き休学を願い出ることができる。
- 4 休学期間は、通算2年を限度とする。
- 5 休学期間は、在学年数に算入しない。
- 6 休学者は、学年又は学期の始めでなければ、復学することができない。
- 7 休学者は、許可された休学期間の末日までに復学を願い出て許可を得なければならない。
- 8 休学及び復学に関する規定は、別に定める。

第27条の2 本学が教育上有益と認めるときは、休学することなく外国の大学に留学することを許可することがある。

- 2 留学に関する規定は、別に定める。

第28条 退学しようとする者は、保証人連署の上その事由を記して願い出て許可を得なければならない。

- 2 退学に関する規定は、別に定める。

第29条 願いにより退学した者が所定の期限内に再入学を願い出たときは、選考の上、その翌年度における再入学を許可することがある。

- 2 再入学に関する規定は、別に定める。

第29条の2 他大学に在学する者で、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、教授会の審議を経て学長がその意見を徴し、相当年次に転入学を許可することがある。

- 2 転入学の志願及び入学手続きについては、第23条、第24条、第25条及び第26条を準用する。
- 3 第1項の規定により入学した者の入学前に修得した単位及び在学年数の全部又は一部を本学で修得した単位及び在学年数として認定又は換算することができる。

第30条 編入学又は学士入学を志望する者に対しては、選考の上、許可することがある。

- 2 この学則に定めるものの他、編入学及び学士入学について必要な事項は、別に定める規程による。

第30条の2 転学科を願い出た者には、選考の上、これを認めることがある。

- 2 転学科に関する規定は、別に定める。

第31条 次の各号のいずれかに当たる者は、教授会の議を経て、学長がその意向を参酌して除籍する。

- (1) 学業成績不良で成業の見込がないと認めた者
- (2) 正当の理由がなくて3か月以上修学しない者
- (3) 在学年数が8年を超える者。ただし、休学期間を加算しない。
- (4) 所定の授業料、教育充実費又は在籍料の未納が1学期に及び、督促しても納入しない者

第8章 入学金、学費、在籍料及びその他納入金

第32条 授業料及び教育充実費（以下「学費」という。）は、年額を2回に分け、毎学期始め指定期日以内に納入しなければならない。

第33条 1学期を通じて休学する者に対しては、所定の在籍料を徴収する。ただし、中途復学者は、その学期の学費を納めなければならない。

第34条 入学金、学費及び在籍料の額は、別表第2のとおりとする。

- 2 学費、在籍料及びその他納入金の取り扱いについては、別に定める。
- 3 一旦納入した入学金、学費、在籍料及びその他納入金は、返還しない。

第9章 研究生、科目等履修生、聴講生、特別聴講学生及び外国人留学生

第35条 大学を卒業した女子が研究事項を定めて本学で研究することを願い出たときは、選考

の上、研究生としてこれを許可することがある。

第36条 研究生規程は、別に定める。

第36条の2 本学所定の授業科目中、その1科目又は数科目の履修を願い出る者があるときは、授業に支障のない場合に限り、選考の上、科目等履修生として履修を許可することができる。

2 科目等履修生は、履修した授業科目について試験を受け合格した場合には、単位を修得することができる。

第36条の3 科目等履修生規程は、別に定める。

第37条 本学所定の授業科目中、その1科目又は数科目の聴講を願い出る者があるときは、授業に支障のない場合に限り、聴講生として聴講を許可することがある。

第38条 聴講生規程は、別に定める。

第38条の2 本学と協定のある日本国内の大学に在籍する学生で、本学所定の授業科目の履修を願い出る者があるときは、授業に支障のない場合に限り、選考の上、特別聴講学生としてその科目の履修を許可することがある。

2 特別聴講学生は、履修した授業科目について試験を受け合格した場合には、単位を修得することができる。

3 特別聴講学生の受入れ手続及び学費等の取扱いについては、当該大学との協定等による。

第39条 日本国籍を有しない者で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学で学修しようとする者については、外国人留学生として受け入れることができる。

第40条 外国人留学生規程は、別に定める。

第10章 研究施設及び公開講座

第41条 本学に次の施設を設ける。

- (1) 東京女子大学図書館
- (2) 東京女子大学比較文化研究所
- (3) 東京女子大学女性学研究所
- (4) 東京女子大学情報処理センター
- (5) 東京女子大学心理臨床センター
- (6) 東京女子大学エンパワーメント・センター

第42条 前条の施設は、別に定める規程により運用する。

第43条 本学は、一定の講座を公開することがある。

第44条 公開講座は、成人教育及び一般公衆の文化向上を目的とし、教授会の議を経てこれを開設する。

第11章 学寮及び保健施設

第45条 本学に学寮を設け、寮監を置く。

第46条 学寮は、別に定める規程により運営する。

第47条 本学に保健室を設け、健康診断を行うとともに健康相談に応じ、必要ある場合は応急処置をなす。

第12章 賞罰

第48条 品行方正、学力優秀な者又は奇特の行為があった者は、教授会の議を経て、学長がその意向を参酌して表彰することがある。

第49条 本学の教育方針に違反し、学生の本分にもとる行為のある者は、教授会の議を経て、学長がその意向を参酌して懲戒することがある。

2 懲戒は、訓戒、停学及び退学の3種とする。

3 退学は、次の各号のいずれかに該当する者に対して行う。

- (1) 性行不良で改善の見込みがない者

(2) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第13章 改廃手続

第50条 この学則の改廃は、大学評議会の審議を経て、学長がその意見を徴し理事会に提案して、理事会が決定する。ただし、第8条の2第3項にかかわる改廃については、教授会の審議を経て、学長がその意見を徴するものとする。

附 則(1948年3月25日制定)

この学則は、1948年4月1日から施行する。

附 則(1950年3月1日改正)

この学則は、1950年4月1日から施行する。

附 則(1951年1月31日改正)

この学則は、1951年4月1日から施行する。

附 則(1954年2月15日改正)

この学則は、1954年4月1日から施行する。

附 則(1958年2月28日改正)

この学則は、1958年4月1日から施行する。

附 則(1961年3月10日改正)

この学則は、1961年4月1日から施行する。

附 則(1965年9月15日改正)

この学則は、1966年4月1日から施行する。

附 則(1971年1月29日改正)

この学則は、1971年4月1日から施行する。

附 則(1975年11月28日改正)

この学則は、1976年4月1日から施行する。

附 則(1985年2月22日改正)

この学則は、1985年4月1日から施行する。

附 則(1985年3月29日改正)

この学則は、1985年4月1日から施行する。

附 則(1986年5月30日改正)

この学則は、1986年5月30日から施行する。

附 則(1987年1月30日改正)

この学則は、1987年4月1日から施行する。

附 則(1987年4月1日改正)

この学則は、1987年4月1日から施行する。ただし、第5条の規定にかかわらず、1987年度から1993年度までの間、文理学部の入学定員は、次のとおりとする。

学 部 、 学 科 等	入 学 定 員
文 理 学 部	
哲 学 科	30名
日 本 文 学 科	110名
英 米 文 学 科	165名
史 学 科	110名
社 会 学 科	110名
心 理 学 科	65名
数 理 学 科	60名
計	650名

附 則(1988年1月29日改正)

この学則は、1988年4月1日から施行する。

附 則(1989年3月24日改正)

この学則は、1989年4月1日から施行する。

附 則(1989年7月21日改正)

この学則は、1990年4月1日から施行する。

附 則(1989年9月22日改正)

この学則は、1990年4月1日から施行する。

附 則(1990年3月16日改正)

この学則は、1990年4月1日から施行する。

附 則(1990年7月20日改正)

この学則は、1991年4月1日から施行する。ただし、第17条の2第2項の規定は、1990年度入学者及び1992年度編入学者から適用する。なお、1989年度以前入学者及び1991年度以前編入学者については、高等学校教諭一種免許状の教科「地理歴史・公民」を「社会」と読みかえる。

附 則(1991年3月15日改正)

この学則は、1991年4月1日から施行する。

附 則(1992年1月17日改正)

この学則は、1992年4月1日から施行する。ただし、第17条の規定は、1991年7月1日から適用する。

附 則(1992年2月21日改正)

この学則は、1992年4月1日から施行する。

附 則(1992年10月15日改正)

この学則は、1993年4月1日から施行する。

附 則(1992年11月19日改正)

この学則は、1993年4月1日から施行する。

附 則(1993年2月23日改正)

この学則は、1993年4月1日から施行する。

附 則(1993年12月21日改正)

この学則は、1994年4月1日から施行する。ただし、第5条の規定にかかわらず、1994年度から1999年度までの間、文理学部の入学定員は、次のとおりとする。

学 部 、 学 科 等	入 学 定 員
文 理 学 部	
哲 学 科	30名
日 本 文 学 科	110名
英 米 文 学 科	165名
史 学 科	110名
社 会 学 科	110名
心 理 学 科	65名
数 理 学 科	60名
計	650名

附 則(1994年2月17日改正)

この学則は、1994年4月1日から施行する。

附 則(1995年2月16日改正)

この学則は、1995年4月1日から施行する。ただし、第17条の3の規定は、1996年度2年次在籍者から適用する。

附 則(1995年12月14日改正)

この学則は、1996年4月1日から施行する。ただし、第9条、第11条、第12条及び第16条の規定は、1996年度1年次在籍者から適用する。

附 則(1996年2月29日改正)

この学則は、1996年4月1日から施行する。

附 則(1996年12月19日改正)

この学則は、1997年4月1日から施行する。

附 則(1997年1月23日改正)

この学則は、1997年4月1日から施行する。

附 則(1997年12月18日改正)

この学則は、1998年4月1日から施行する。

附 則(1998年12月17日改正)

この学則は、1999年4月1日から施行する。

附 則(1999年12月22日改正)

この学則は、2000年4月1日から施行する。ただし、第5条の規定にかかわらず、文理学部の入学定員は2000年度から2004年度までの間、収容定員は2000年度から2007年度までの間、次のとおりとする。

学部、学科等	入 学 定 員				
	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度
文 理 学 部					
哲 学 科	30 名	30 名	30 名	30 名	30 名
日 本 文 学 科	109 名	108 名	107 名	106 名	105 名
英 米 文 学 科	164 名	163 名	162 名	161 名	160 名
史 学 科	110 名	110 名	110 名	110 名	110 名
社 会 学 科	110 名	110 名	110 名	110 名	110 名
心 理 学 科	65 名	65 名	65 名	65 名	65 名
数 理 学 科	60 名	60 名	60 名	60 名	60 名
計	648 名	646 名	644 名	642 名	640 名

学部、学科等	収 容 定 員				
	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度
文 理 学 部					
哲 学 科	120 名	120 名	120 名	120 名	120 名
日 本 文 学 科	439 名	437 名	434 名	430 名	426 名
英 米 文 学 科	659 名	657 名	654 名	650 名	646 名
史 学 科	440 名	440 名	440 名	440 名	440 名
社 会 学 科	440 名	440 名	440 名	440 名	440 名
心 理 学 科	260 名	260 名	260 名	260 名	260 名
数 理 学 科	240 名	240 名	240 名	240 名	240 名
計	2,598 名	2,594 名	2,588 名	2,580 名	2,572 名

学部、学科等	収 容 定 員		
	2005年度	2006年度	2007年度
文 理 学 部			
哲 学 科	120 名	120 名	120 名
日 本 文 学 科	418 名	411 名	405 名
英 米 文 学 科	633 名	621 名	610 名
史 学 科	430 名	420 名	410 名
社 会 学 科	430 名	420 名	410 名
心 理 学 科	255 名	250 名	245 名
数 理 学 科	230 名	220 名	210 名
計	2,516 名	2,462 名	2,410 名

附 則(2000年1月20日改正)

この学則は、2000年4月1日から施行する。

附 則(2000年3月21日改正)

この学則は、2000年4月1日から施行する。ただし、第17条の2第2項の規定は、2000年度入学者から適用する。

附 則(2001年1月25日改正)

この学則は、2001年4月1日から施行する。

附 則(2001年2月22日改正)

この学則は、2001年2月22日から施行し、2001年1月6日から適用する。

附 則(2002年1月24日改正)

この学則は、2002年4月1日から施行する。

附 則(2002年2月21日改正)

この学則は、2002年4月1日から施行する。

附 則(2002年3月11日改正)

この学則は、2002年4月1日から施行する。ただし、第17条の2第2項の規定は、2002年度入学者から適用する。

附 則(2002年5月16日改正)

この学則は、2002年5月16日から施行する。

附 則(2003年1月16日改正)

この学則は、2003年4月1日から施行する。ただし、改正後の第9条、第10条、第11条、第11条の2、第12条、第13条、第15条の2、第17条の4、第27条、第30条及び第31条第3号の規定は、2003年度以降の入学者に適用し、2002年度以前の入学者については従前の学則による。

附 則(2003年4月17日改正)

この学則は、2003年4月17日から施行し、2003年4月1日から適用する。

附 則(2003年7月31日改正)

この学則は、2004年4月1日から施行する。ただし、第5条の規定にかかわらず、収容定員は2004年度から2006年度までの間、次のとおりとする。

学部、学科等	収 容 定 員		
	2004年度	2005年度	2006年度
文 理 学 部			
哲 学 科	120 名	120 名	120 名
日 本 文 学 科	421 名	413 名	406 名
英 米 文 学 科	621 名	593 名	566 名
史 学 科	430 名	420 名	410 名
社 会 学 科	440 名	440 名	440 名
心 理 学 科	275 名	290 名	305 名
数 理 学 科	240 名	240 名	240 名
(計)	2,547 名	2,516 名	2,487 名
現代文化学部			
コミュニケーション学科	335 名	350 名	365 名
地域文化学科	365 名	370 名	375 名
言語文化学科	325 名	330 名	335 名
(計)	1,025 名	1,050 名	1,075 名
総 計	3,572 名	3,566 名	3,562 名

附 則(2003年10月16日改正)

この学則は、2004年4月1日から施行する。

附 則(2003年12月18日改正)

1 この学則は、2004年4月1日から施行する。ただし、別表第2(第23条第2項及び第34条第1項関係)は、2003年12月18日から施行する。

2 附則(1999年12月22日改正)の2004年度入学定員及び2007年度収容定員は、これを適用しない。

附 則(2004年7月15日改正)

この学則は、2005年4月1日から施行する。ただし、別表第1の2(第17条の4第2項関係)は、2004年7月15日から施行する。

附 則(2004年11月18日改正)

この学則は、2005年4月1日から施行する。ただし、改正後の別表第1(第9条第3項関係)の(1)共通科目に係る部分は、2004年度以降の入学者に適用し、2003年度以前の入学者については、従前の学則による。

附 則(2005年3月10日改正)

この学則は、2005年4月1日から施行する。

附 則(2005年7月21日改正)

この学則は、2006年4月1日から施行する。

附 則(2005年12月15日改正)

この学則は、2006年4月1日から施行する。

附 則(2006年12月21日改正)

この学則は、2007年4月1日から施行する。

附 則(2007年3月16日改正)

この学則は、2007年4月1日から施行する。ただし、改正後の別表第1(第9条第3項関係)の(6)学科科目ア文理学部(キ)数理学科に係る部分及び第17条の2第2項については、2006年度以降の入学者に適用し、2005年度以前の入学者については、従前の学則による。また、改正後の別表第1(第9条第3項関係)の(8)教職課程科目に係る部分については、2007年度以降の入学者に適用し、2006年度以前の入学者については、従前の学則による。

附 則(2007年12月20日改正)

この学則は、2008年4月1日から施行する。

附 則(2008年2月21日改正)

1 この学則は、2009年4月1日から施行する。

2 文理学部哲学科、日本文学科、英米文学科、史学科、社会学科、心理学科及び数理学科並びに現代文化学部コミュニケーション学科、地域文化学科及び言語文化学科は、改正後の第3条、第4条及び第5条の規定にかかわらず、当該学部学科に2009年3月31日に在学する者が、在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

3 改正後の学則第17条の規定にかかわらず、文理学部哲学科、日本文学科、英米文学科、史学科、社会学科、心理学科を卒業した者には学士(文学)、数理学科を卒業した者には、学士(理学)、現代文化学部を卒業した者には学士(現代文化)の学位を授与する。

4 改正後の第3条、第12条、第17条の2、第30条の2、別表第1及び別表第1の2については、2009年度以降の入学者に適用し、2008年度以前の入学者については、従前の学則による。

附 則(2008年12月24日改正)

1 この学則は、2009年4月1日から施行する。

2 改正後の別表第1については、2009年度以降の入学者に適用し、2008年度以前の入学者については、2007年12月20日改正の学則による。

附 則(2009年1月15日改正)

この学則は、2009年4月1日から施行する。

附 則(2009年2月19日改正)

この学則は、2009年4月1日から施行する。

附 則(2010年1月21日改正)

この学則は、2010年4月1日から施行する。

附 則(2010年1月25日改正)

- 1 この学則は、2010年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1については、2010年度以降の入学者に適用し、2009年度以前の入学者については、従前の学則による。
附 則 (2011年1月20日改正)
この学則は、2011年4月1日から施行する。
附 則 (2011年4月21日改正)
この学則は、2011年4月21日から施行し、2011年4月1日から適用する。
附 則 (2011年12月15日改正)
この学則は、2012年4月1日から施行する。
附 則 (2012年3月26日改正)
- 1 この学則は、2012年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1(第9条第3項関係)の(9)学芸員課程科目に係る部分は、2012年度以降の入学者に適用し、2011年度以前の入学者については、従前の学則による。
附 則 (2012年9月20日改正)
- 1 この学則は、2013年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1(第9条第3項関係)については、2013年度以降の入学者に適用し、2012年度以前の入学者については、従前の学則による。
附 則 (2012年12月20日改正)
- 1 この学則は、2013年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1の2(第17条の4第2項関係)については、2013年度以降の入学者に適用し、2012年度以前の入学者については、従前の学則による。
附 則 (2013年9月19日改正)
- 1 この学則は、2014年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1(第9条第3項関係)については、2014年度以降の入学者に適用し、2013年度以前の入学者については、従前の学則による。
附 則 (2014年1月16日改正)
- 1 この学則は、2014年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1(第9条第3項関係)の(1)総合教養科目に係る部分については、2013年度以降の入学者に適用し、2012年度以前の入学者については、従前の学則による。
- 3 改正後の別表第1(第9条第3項関係)の(6)学科科目及び(7)教職特設科目に係る部分並びに別表第1の2(第17条の4第2項関係)については、2014年度以降の入学者に適用し、2013年度以前の入学者については、従前の学則による。
附 則 (2014年7月17日改正)
この学則は、2014年7月17日から施行する。
附 則 (2015年1月15日改正)
この学則は、2015年4月1日から施行する。
附 則 (2016年1月21日改正)
この学則は、2016年4月1日から施行する。
附 則 (2016年2月18日改正)
- 1 この学則は、2016年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1(第9条第3項関係)の(1)総合教養科目に係る部分については、2013年度以降の入学者に適用し、2012年度以前の入学者については、従前の学則による。
附 則 (2016年4月21日改正)
この学則は、2016年4月21日から施行する。
附 則 (2016年9月15日改正)
この学則は、2016年9月15日から施行する。
附 則 (2016年12月15日改正)
この学則は、2017年4月1日から施行する。

附 則(2017年2月16日改正)

- 1 この学則は、2017年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1(第9条第3項関係)の(1)総合教養科目及び(3)外国語科目に係る部分については、2013年度以降の入学者に適用し、2012年度以前の入学者については、従前の学則による。

附 則(2017年3月9日改正)

- 1 この学則は、2018年4月1日から施行する。
- 2 人文学科の英語文学文化専攻及び史学専攻は、改正後の第4条の規定にかかわらず、当該専攻に2018年3月31日に在学する者が、在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 人間科学科の心理学専攻、コミュニケーション専攻及び言語科学専攻は、改正後の第4条及び第5条の規定にかかわらず、当該学科に2018年3月31日に在学する者が、在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 4 改正後の第17条の規定にかかわらず、人間科学科を卒業した者には学士(教養)の学位を授与する。
- 5 改正後の第9条、第12条、第17条の2、別表第1及び別表第1の2については、2018年度以降の入学者に適用し、2017年度以前の入学者については、従前の学則による。

別表第1 (第9条第3項関係)

授業科目及び単位数

(1) 総合教養科目

注1 総合教養科目は、以下の①②の10科目計18単位を必修とする。

《国際英語学科、人文学科、国際社会学科、心理・コミュニケーション学科》

①8科目計16単位

「女性の生きる力」、「人間自身を知る」、「人間の知的生産」、「人間社会の仕組みと問題」の4領域から必ず各1科目2単位、「人間と自然科学」領域から必ず2科目計4単位を含め8科目計16単位(「女性のウェルネス」はこの16単位には含まない)。

ただし、哲学専攻、日本文学専攻、社会学専攻、心理学専攻、コミュニケーション専攻の学生については、下表に示す授業科目の単位を、①の必修16単位に含めることはできるが、当該領域の必修2単位に充当することはできない。

学科・専攻	授業科目	領域	
人文学科	哲学専攻	現代人の哲学	人間自身を知る
	日本文学専攻	日本の文学	人間の知的生産
国際社会学科	社会学専攻	社会学と現代社会	人間社会の仕組みと問題
心理・コミュニケーション学科	心理学専攻	こころの科学 こころと社会 こどものこころ	人間自身を知る
	コミュニケーション専攻	統計のしくみ 統計分析を学ぶ	人間社会の仕組みと問題

②「女性のウェルネス」領域の「女性のウェルネス・身体運動Ⅰ」及び「女性のウェルネス・身体運動Ⅱ」の2科目計2単位

《数理科学科》

①8科目計16単位

「女性の生きる力」、「人間と自然科学」、「人間自身を知る」、「人間の知的生産」、「人間社会の仕組みと問題」の5領域から必ず各1科目2単位を含め8科目計16単位(この16単位に含むことのできる「人間と自然科学」領域の科目は、2科目計4単位までとする。また、「女性のウェルネス」はこの16単位には含まない)。

ただし、下表に示す授業科目の単位を、①の必修16単位に含めることはできない。

学科・専攻	授業科目	領域	
数理科学科	数学専攻 情報理学専攻	代数と幾何の基礎 代数と幾何の考え方とその応用 微分と積分の基礎 微分と積分の考え方とその応用 確率統計の基礎	人間と自然科学

②「女性のウェルネス」領域の「女性のウェルネス・身体運動Ⅰ」及び「女性のウェルネス・身体運動Ⅱ」の2科目計2単位

2 外国人正規課程留学生は、外国人留学生特別科目のうち次の科目の単位を、下記のとおり総合教養科目の各領域の単位に代えることができる。

「日本事情A」2単位 → 「人間社会の仕組みと問題」領域の2単位

「日本事情B」2単位 → 「人間の知的生産」領域の2単位

「日本事情C」2単位 → 「人間自身を知る」領域の2単位

「日本事情D」2単位 → 「人間の知的生産」領域の2単位

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
女性の生きる力					
女性学・ジェンダーを学ぶ	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
女性とジェンダーの歴史	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
キャリアデザインを描く	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
政治とジェンダー	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
国際協力とジェンダー	1	2	2	選択必修	2単位必修 1・2・3・4
国際社会と女性の人権	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
現代の家族とジェンダー	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
女性のウェルビーイング	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
女性と福祉	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
女性と表現	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
総合教養演習(女性の生きる力)	1	2	2	選択必修	2・3・4
人間と自然科学					
自然科学のあゆみ	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
現代の科学と技術	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
くらしの中の物質	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
エネルギーと人類	1	2	2	選択必修	国際英 語学科 1・2・3・4
宇宙の科学	1	2	2	選択必修	人文学 科、国際 1・2・3・4
地球の科学	1	2	2	選択必修	社会学 科、心 1・2・3・4
地球環境の科学	1	2	2	選択必修	理・コミ ニケ 1・2・3・4
自然環境と人間社会	1	2	2	選択必修	ーション ン学科 1・2・3・4
生物と環境	1	2	2	選択必修	の学生 は4単位 1・2・3・4
生命と医療の科学	1	2	2	選択必修	必修、 数理科 1・2・3・4
人類の誕生と進化	1	2	2	選択必修	学科の 学生は2 1・2・3・4
脳の科学	1	2	2	選択必修	単位を 必修と 1・2・3・4
遺伝の科学	1	2	2	選択必修	しこの 領域の 1・2・3・4
数学の世界	1	2	2	選択必修	必修単 位とし て扱え ること 1・2・3・4
情報の数学	1	2	2	選択必修	のでき る単位 数は4単 位まで とする。 1・2・3・4
代数と幾何の基礎	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
代数と幾何の考え方とその応用	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
微分と積分の基礎	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
微分と積分の考え方とその応用	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
確率統計の基礎	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
総合教養演習(人間と自然科学)	1	2	2	選択必修	2・3・4

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
人間自身を知る					
こころの科学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
こころと社会	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
こどものこころ	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
こころの健康	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
こころの進化	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
思考と論理	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
科学技術と倫理	1	2	2	選択必修	2単位必修 1・2・3・4
現代人の哲学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
西洋の哲学のあゆみ	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
東洋の哲学のあゆみ	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
比較思想	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
宗教学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
日本宗教史	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
宗教と現代社会	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
総合教養演習(人間自身を知る)	1	2	2	選択必修	2・3・4
人間の知的生産					
ことばの世界	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
日本の文学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
児童文学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
比較文学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
比較文化	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
宗教音楽	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
音楽芸術	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
音楽史	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
美術論	1	2	2	選択必修	2単位必修 1・2・3・4
映像論	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
舞台芸術論	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
日本文化史	1	2	2	選択必修	1・2・3・4
日本の伝統芸能	1	2	2	選択必修	1・2・3・4

授業科目	授業期間 (15 週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別		履修年次
世界の地域と民族	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
ヨーロッパの歴史と文化	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
アメリカの歴史と文化	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
ラテンアメリカの歴史と文化	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
アジアの歴史と文化	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
民俗学	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
歴史の見方	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
現代史の諸相	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
アーカイブの世界	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
総合教養演習(人間の知的生産)	1	2	2	選択必修		2・3・4
人間社会の仕組みと問題						
日本国憲法	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
公共政策と法	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
市民社会と法	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
国際社会と人権	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
自治と行政	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
社会学と現代社会	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
地域社会論	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
社会保障と社会福祉	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
情報と社会	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
現代社会と教育	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
近現代日本の政治史	1	2	2	選択必修	2 単位必修	1・2・3・4
国際社会と日本	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
平和学	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
ヨーロッパの比較政治	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
アジアの比較政治	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
日本の産業と企業	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
日本経済のしくみ	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
グローバル経済のしくみ	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
アジアの経済事情	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
国際金融と貿易	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
統計のしくみ	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
統計分析を学ぶ	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
エネルギー産業と国民生活	1	2	2	選択必修		1・2・3・4
総合教養演習(人間社会の仕組みと問題)	1	2	2	選択必修		2・3・4

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
女性のウェルネス					
女性のウェルネス・身体運動Ⅰ	1	2	1	必修	1
女性のウェルネス・身体運動Ⅱ	1	2	1	必修	1
講義					
からだの科学	1	2	2	選択	1・2・3・4
発育と発達	1	2	2	選択	1・2・3・4
栄養と健康	1	2	2	選択	1・2・3・4
現代社会と身体	1	2	2	選択	1・2・3・4
女性の健康科学	1	2	2	選択	1・2・3・4
性と生命(セクソロジー)	1	2	2	選択	1・2・3・4
女性の心身コンディショニング	1	2	2	選択	2・3・4
実習					
スポーツA	1	2	1	選択	2・3・4
スポーツB	1	2	1	選択	2・3・4
スポーツC	1	2	1	選択	2・3・4
スポーツD	1	2	1	選択	2・3・4
フィジカルエクササイズA	1	2	1	選択	2・3・4
フィジカルエクササイズB	1	2	1	選択	2・3・4
フィジカルエクササイズC	1	2	1	選択	2・3・4
身体表現A	1	2	1	選択	2・3・4
身体表現B	1	2	1	選択	2・3・4
身体表現C	1	2	1	選択	2・3・4

(2) 挑戦する知性科目

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・ 選択の別	履修年次
ケンブリッジ教養講座	2	2	2	選択	2・3・4
PBL キャリア構築講座	1	2	2	選択	2・3・4
英語特別プログラム	2	2	2	選択	2・3・4
Critical Thinking 演習*	1	2	2	選択	2
発話・パフォーマンス演習*	1	2	2	選択	2
討論演習1*	1	2	2	選択	3
討論演習2*	1	2	2	選択	3
Total Presentation 演習1*	1	2	2	選択	4
Total Presentation 演習2*	1	2	2	選択	4

注 *印の科目を履修するには、所定のキャリア・イングリッシュ課程登録を行っていないといけない。

(3) キリスト教学科目

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
キリスト教学Ⅰ(入門Ⅰ)	1	2	2	必修	1
キリスト教学Ⅰ(入門Ⅱ)	1	2	2	必修	1
キリスト教学Ⅱ(旧約聖書の世界)	1	2	2	選択必修	2・3・4
キリスト教学Ⅱ(新約聖書の世界)	1	2	2	選択必修	2・3・4
キリスト教学Ⅱ(キリスト教と女性)	1	2	2	選択必修	2・3・4
キリスト教学Ⅱ(キリスト教の歴史)	1	2	2	選択必修	2・3・4
キリスト教学Ⅱ(日本のキリスト教)	1	2	2	選択必修	2・3・4
キリスト教学Ⅱ(世界のキリスト教)	1	2	2	選択必修	2・3・4
キリスト教学Ⅱ(キリスト教と社会)	1	2	2	選択必修	2単位必修 2・3・4
キリスト教学Ⅱ(キリスト教と現代の宗教事情)	1	2	2	選択必修	2・3・4
キリスト教学Ⅱ(キリスト教と倫理)	1	2	2	選択必修	2・3・4
キリスト教学Ⅱ(キリスト教の思想)	1	2	2	選択必修	2・3・4
キリスト教学Ⅱ(キリスト教と芸術)	1	2	2	選択必修	2・3・4
キリスト教学Ⅱ(キリスト教と文学)	1	2	2	選択必修	2・3・4
キリスト教学Ⅲ(聖書と文化)	1	2	2	選択	2・3・4
キリスト教学Ⅲ(キリスト教の歴史と文化)	1	2	2	選択	2・3・4
キリスト教学Ⅲ(キリスト教の思想と文化)	1	2	2	選択	2・3・4

注1 「キリスト教学Ⅲ」の各科目は、「キリスト教学Ⅰ(入門Ⅰ)」、「キリスト教学Ⅰ(入門Ⅱ)」及び「キリスト教学Ⅱ」を履修した者が履修することができる。

2 必修単位を超えて修得した「キリスト教学Ⅱ」の単位は、自由選択科目の単位となる。

(4) 外国語科目

ア 第一外国語

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
Communication Skills A	1	2	1	必修	1
Communication Skills B	1	2	1	必修	1
Reading I A	1	2	1	必修	1
Reading I B	1	2	1	必修	1
Discussion Skills A	1	2	1	必修	2
Discussion Skills B	1	2	1	必修*	2
Reading II A	1	2	1	必修	2
Reading II B	1	2	1	必修*	2
Speaking Skills A	1	2	1	選択必修	2・3・4
Speaking Skills B	1	2	1	選択必修	2・3・4
Listening and Presentation A	1	2	1	選択必修	2・3・4
Listening and Presentation B	1	2	1	選択必修	2・3・4
Critical Reading and Discussion A	1	2	1	選択必修	2・3・4
Critical Reading and Discussion B	1	2	1	選択必修	2・3・4
Journalistic English A	1	2	1	選択必修	2・3・4
Journalistic English B	1	2	1	選択必修	2・3・4
Academic Writing A	1	2	1	選択必修	2・3・4
Academic Writing B	1	2	1	選択必修	1単位必修 2・3・4
English through Drama A	1	2	1	選択必修	2・3・4
English through Drama B	1	2	1	選択必修	2・3・4
English for Specific Purposes					
Business English A	1	2	1	選択必修	2・3・4
Business English B	1	2	1	選択必修	2・3・4
Translation A	1	2	1	選択必修	2・3・4
Translation B	1	2	1	選択必修	2・3・4
Tour Guide Interpreting A	1	2	1	選択必修	2・3・4
Tour Guide Interpreting B	1	2	1	選択必修	2・3・4

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
English Proficiency Test Classes					
TOEIC 講座	1	2	1	選択必修	1・2・3・4
TOEFL 講座	1	2	1	選択必修	1・2・3・4
IELTS 講座	1	2	1	選択必修	1・2・3・4
Basic Communicative English	1	4	2	選択	1
Intensive English	2	2	2	選択	1・2・3・4

- 注1 2年次、3年次に「Reading II A」を履修するには、「Reading I A」又は「Reading I B」を1単位修得していなければならない。
- 2 2年次、3年次に「Reading II B」を履修するには、「Reading I A」又は「Reading I B」を1単位修得していなければならない。
- 3 国際英語学科の学生は、「*」印の「Discussion Skills B」、「Reading II B」の2科目計2単位の履修を免除する。
- 4 「Basic Communicative English」は、入学時に実施するプレースメントテストの結果に基づき、指示のあった者を履修対象とする。
- 5 本学に入学する前に在学した大学又は短期大学において修得した単位の認定により第一外国語の1年次必修4単位をすべて認定された者は、「Discussion Skills A」、「Discussion Skills B」、「Reading II A」及び「Reading II B」の4科目計4単位を1年次に履修しなければならない。
- 6 大学以外の教育施設等における知識及び技能審査(実用英語技能検定、TOEFL、TOEIC、IELTS)の成果に係る学修により第一外国語の必修8単位をすべて認定された者は、履修年次が2年次以上の選択必修科目を在籍する年次にかかわらず履修することができる。
- 7 外国人正規課程留学生は、上記の定めによらず、外国人留学生特別科目の「日本語 I (入門)」及び「日本語 II (応用)」の2科目計8単位を第一外国語の必修8単位とする。

イ 第二外国語

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	
ドイツ語初級	2	4	4	選択必修	} 4単位必修	1
フランス語初級	2	4	4	選択必修		1
スペイン語初級	2	4	4	選択必修		1
中国語初級	2	4	4	選択必修		1
韓国語初級	2	4	4	選択必修		1
ドイツ語(読解)A	1	2	1	選択		2・3・4
ドイツ語(読解)B	1	2	1	選択		2・3・4
ドイツ語(作文と文法)	1	2	1	選択		2・3・4
ドイツ語(会話)	1	2	1	選択		2・3・4
フランス語(読解)A	1	2	1	選択		2・3・4
フランス語(読解)B	1	2	1	選択		2・3・4
フランス語(作文と文法)	1	2	1	選択		2・3・4
フランス語(会話)	1	2	1	選択		2・3・4
スペイン語(読解)A	1	2	1	選択		2・3・4
スペイン語(読解)B	1	2	1	選択		2・3・4
スペイン語(作文と文法)	1	2	1	選択		2・3・4
スペイン語(会話)	1	2	1	選択		2・3・4
中国語(読解)A	1	2	1	選択		2・3・4
中国語(読解)B	1	2	1	選択		2・3・4
中国語(作文と文法)	1	2	1	選択		2・3・4
中国語(会話)	1	2	1	選択		2・3・4
韓国語(読解)A	1	2	1	選択		2・3・4
韓国語(読解)B	1	2	1	選択		2・3・4
韓国語(作文と文法)	1	2	1	選択		2・3・4
韓国語(会話)	1	2	1	選択		2・3・4

注1 ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語の各読解A、読解B、作文と文法、会話を履修するには、同じ言語の初級4単位を修得していなければならない。

2 ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語の各読解A、読解B、作文と文法、会話は、同一授業科目を重ねて履修することができる。

- 3 ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語の各初級は、第二外国語の必修科目として履修する以外に、第三、第四、第五、第六の外国語として2年次から履修することができる。ただし、本学入学時に第二外国語の必修4単位を認定された者は、1年次から履修することができる。
- 4 本学に入学する前に在学した大学又は短期大学において修得した単位の認定により第二外国語の必修4単位を認定された者は、認定された言語の読解A、読解B、作文と文法、会話を在籍する年次にかかわらず履修することができる。
- 5 大学以外の教育施設等における知識及び技能審査(ドイツ語技能検定試験、実用フランス語技能検定試験、スペイン語技能検定試験、中国語検定試験、韓国語能力試験、「ハングル」能力検定試験)の成果に係る学修により第二外国語の初級4単位を認定された者は、認定された言語の読解A、読解B、作文と文法、会話を在籍する年次にかかわらず履修することができる。
- 6 第二外国語の必修科目として履修する以外の言語について一定の条件を満たすと認められた者は、注1に定める読解A、読解B、作文と文法、会話の履修条件及び在籍する年次にかかわらず、当該言語の読解A、読解B、作文と文法、会話を履修することができる。
- 7 外国人正規課程留学生は、上記の定めによらず、次の科目から指定するいずれか5単位を第二外国語の必修とする。
外国人留学生特別科目の「英語初級Ⅰ」、「英語初級Ⅱ」及び第一外国語の必修又は選択必修科目

ウ ギリシア語・ラテン語

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
ギリシア語初級1	1	2	1	選択	1・2・3・4
ギリシア語初級2	1	2	1	選択	1・2・3・4
ラテン語初級1	1	2	1	選択	1・2・3・4
ラテン語初級2	1	2	1	選択	1・2・3・4

- 注1 「ギリシア語初級2」を履修するには、「ギリシア語初級1」1単位を修得していなければならない。
- 2 「ラテン語初級2」を履修するには、「ラテン語初級1」1単位を修得していなければならない。

(5) 日本語科目

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
日本語表現法	1	2	2	選択	1・2 限定

(6) 情報処理科目

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
情報処理技法(リテラシ) I	1	2	2	必修	1
情報処理技法(リテラシ) II	1	2	2	必修	1
情報処理技法(Cプログラミング) I	1	2	2	選択	1・2・3・4
情報処理技法(Cプログラミング) II	1	2	2	選択	2・3・4
情報処理技法(Javaプログラミング) I	1	2	2	選択	1・2・3・4
情報処理技法(Javaプログラミング) II	1	2	2	選択	2・3・4
情報処理技法(マルチメディアと表現) I	1	2	2	選択	1・2・3・4
情報処理技法(マルチメディアと表現) II	1	2	2	選択	2・3・4
情報処理技法(UNIXリテラシ)	1	2	2	選択	1・2・3・4
情報処理技法(統計解析)	1	2	2	選択	2・3・4
情報処理技法(ネットワークとセキュリティ)	1	2	2	選択	2・3・4
情報処理技法(Webでの情報表現)	1	2	2	選択	2・3・4
コンピュータサイエンス I	1	2	2	選択	1・2・3・4
コンピュータサイエンス II	1	2	2	選択	1・2・3・4

注1 情報処理科目の選択科目を履修するには、「情報処理技法(リテラシ) I」を履修していなければならない。ただし、「コンピュータサイエンス I」及び「コンピュータサイエンス II」は、当該履修条件にかかわらず履修することができる。

2 本学に入学する前に在学した大学又は短期大学において修得した単位の認定により「情報処理技法(リテラシ) I」2単位を認定された者は、情報処理科目の選択科目を在籍する年次にかかわらず履修することができる。

(7) 学科科目

ア 国際英語学科

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	
基盤講義						
国際英語と女性の生き方	1	2	2	選択	1	
異文化理解A	1	2	2	選択	2・3	
異文化理解B	1	2	2	選択	2・3	
Japanese Culture & Literature	1	2	2	選択	2・3	
英語グローバル人材論	1	2	2	必修	2	
English Studies 基礎論 (文学研究)	1	2	2	選択必修	} 4単位必修	2
English Studies 基礎論 (批評研究)	1	2	2	選択必修		2
English Studies 基礎論 (文化研究)	1	2	2	選択必修		2
English Studies 基礎論 (言語と社会)	1	2	2	選択必修		2
English Studies 基礎論 (言語の構造)	1	2	2	選択必修		2
英語教育基礎論A	1	2	2	選択必修		2
英語教育基礎論B	1	2	2	選択必修		2
第二言語習得基礎論A	1	2	2	選択必修		2・3
第二言語習得基礎論B	1	2	2	選択必修		2・3
言語の多様性と普遍性A	1	2	2	選択必修		2・3
言語の多様性と普遍性B	1	2	2	選択必修		2・3
翻訳基礎論	1	2	2	選択必修		2
通訳基礎論	1	2	2	選択必修		2
Professional English 基礎論	1	2	2	選択必修		2
特殊講義						
英語文化リソース論	1	2	2	選択必修	} 2単位必修	2・3・4
テーマ研究 (ジェンダー研究)	1	2	2	選択必修		2・3・4
テーマ研究 (英米文学)	1	2	2	選択必修		2・3・4
テーマ研究 (英語と世界文学)	1	2	2	選択必修		2・3・4
テーマ研究 (英語教育と第二言語習得)	1	2	2	選択必修		2・3・4
テーマ研究 (Professional English)	1	2	2	選択必修		2・3・4
比較文化A	1	2	2	選択		2・3・4
比較文化B	1	2	2	選択	2・3・4	
表象文化A	1	2	2	選択	2・3・4	
表象文化B	1	2	2	選択	2・3・4	

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
英語文学 (演劇)	1	2	2	選択必修	3・4
英語文学 (小説)	1	2	2	選択必修	3・4
英語文学 (詩)	1	2	2	選択必修	3・4
英語文学 (児童文学)	1	2	2	選択必修	3・4
英語文学 (比較文学)	1	2	2	選択必修	3・4
英語文学 (映像と言語表現)	1	2	2	選択必修	3・4
イギリス文学史Ⅰ	1	2	2	選択必修	3・4
イギリス文学史Ⅱ	1	2	2	選択必修	3・4
アメリカ文学史Ⅰ	1	2	2	選択必修	3・4
アメリカ文学史Ⅱ	1	2	2	選択必修	3・4
英語文化研究特論A	1	2	2	選択必修	2・3・4
英語文化研究特論B	1	2	2	選択必修	4単位必修 2・3・4
英語学 (意味論)	1	2	2	選択必修	3・4
英語学 (語用論)	1	2	2	選択必修	3・4
英語学 (音韻論)	1	2	2	選択必修	3・4
英語学 (形態・統語論)	1	2	2	選択必修	3・4
英語学 (社会言語学)	1	2	2	選択必修	3・4
英語学 (英語史)	1	2	2	選択必修	3・4
英語指導法	1	2	2	選択必修	2・3
児童英語指導法	1	2	2	選択必修	2・3
第二言語習得研究法	1	2	2	選択必修	2・3
翻訳学特論	1	2	2	選択必修	2・3・4
通訳学特論	1	2	2	選択必修	2・3・4
基盤演習					
1年次演習 (国際英語)	1	2	2	必修	1
Study Abroad 基礎演習	1	2	2	必修	1
First-Year English Seminar I	1	4	4	必修	1
First-Year English Seminar II	1	4	4	必修	1
Second-Year English Seminar	1	2	2	必修	2
Research Project for Study Abroad	1	2	2	必修	2

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
英語音声学	1	2	2	選択必修	1
英文法	1	2	2	選択必修	1
English Studies 入門演習 I	1	2	2	選択必修	1
English Studies 入門演習 II (文学)	1	2	2	選択必修	1
English Studies 入門演習 II (文化)	1	2	2	選択必修	1
English Studies 入門演習 II (言語)	1	2	2	選択必修	1
英語教育入門演習	1	2	2	選択必修	1
児童英語教育入門演習	1	2	2	選択必修	1
第二言語習得入門演習	1	2	2	選択必修	1
Classroom English 入門演習	1	2	2	選択必修	2
Professional English 入門演習 A	1	2	2	選択必修	1
Professional English 入門演習 B	1	2	2	選択必修	1
Public Speaking	1	2	2	選択必修	2
翻訳入門演習	1	2	2	選択必修	2
通訳入門演習	1	2	2	選択必修	2
Study Abroad English			2~10	選択必修	2・3
Study Abroad Academics			2~16	選択必修	2・3
発展演習					
時事英語	1	2	2	選択	2・3・4
Critical Thinking	1	2	2	選択	2・3・4
3年次演習 (国際英語) I	1	2	2	必修	3
3年次演習 (国際英語) II	1	2	2	必修	3
Third-Year Research Writing I	1	2	2	必修	3
Third-Year Research Writing II	1	2	2	必修	3

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別		履修年次
英語文学演習 (演劇)	1	2	2	選択必修	} 6 単位必修	3・4
英語文学演習 (小説)	1	2	2	選択必修		3・4
英語文学演習 (詩)	1	2	2	選択必修		3・4
英語文学演習 (児童文学)	1	2	2	選択必修		3・4
英語文学演習 (比較文学)	1	2	2	選択必修		3・4
英語文学演習 (映像と言語表現)	1	2	2	選択必修		3・4
英語学演習 (意味論)	1	2	2	選択必修		3・4
英語学演習 (語用論)	1	2	2	選択必修		3・4
英語学演習 (音韻論)	1	2	2	選択必修		3・4
英語学演習 (形態・統語論)	1	2	2	選択必修		3・4
英語学演習 (社会言語学)	1	2	2	選択必修		3・4
児童英語教育演習	1	2	2	選択必修		3
第二言語習得演習	1	2	2	選択必修		3
Classroom English 演習	1	2	2	選択必修		3
翻訳演習 A	1	2	2	選択必修		3
翻訳演習 B	1	2	2	選択必修	3	
通訳演習 A	1	2	2	選択必修	3	
通訳演習 B	1	2	2	選択必修	3	
Professional English 演習 A	1	2	2	選択必修	3	
Professional English 演習 B	1	2	2	選択必修	3	
4 年次演習 (国際英語) I	1	2	2	必修	4	
4 年次演習 (国際英語) II	1	2	2	必修	4	
卒業論文						
卒業論文	2		8	選択必修	} 8 単位必修	4
Final Presentation	2		8	選択必修		4

注1 1年次の自学科科目の履修は、20単位を上限とする。

- 2 「*」印の選択必修4単位は特別の理由により Study Abroad を免除することを学科が認めた場合は、学科の指定する科目の単位に代えることができる。
- 3 国際英語学科の学生は、自学科科目のうち必修科目、選択必修科目合わせて64単位を修得しなければならない。
- 4 国際英語学科の学生が4年次に進級するには、前年度末までに、卒業に必要な単位数130単位のうち所定の科目の単位を含む86単位を修得しなければならない。
- 5 「Critical Thinking」は、キャリア・イングリッシュ課程を登録している人文学科、国際社会学科、心理・コミュニケーション学科及び数理科学科の学生が必要と認められた場合は、履修することができる。

イ 人文学科

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	
基盤講義						
人文学入門	1	2	2	必修	1	
哲学の基本問題	1	2	2	選択	哲学専攻は必修	1
哲学の歴史的展開	1	2	2	選択		1
哲学概論	1	2	2	選択		2
倫理学概論	1	2	2	選択	哲学専攻は2単位必修	2・3
美学概論	1	2	2	選択		2・3
キリスト教学概論	1	2	2	選択		2・3
古代ギリシア哲学史	1	2	2	選択	哲学専攻は6単位必修	2・3
中世ヨーロッパ哲学史	1	2	2	選択		2・3
西洋近代哲学史	1	2	2	選択		2・3
西洋現代哲学史	1	2	2	選択		2・3
東洋思想史	1	2	2	選択		2・3
美学史	1	2	2	選択		2・3
キリスト教史	1	2	2	選択		2・3
日本語学入門	1	2	2	選択	日本文学専攻は必修	1
日本古典文学入門	1	2	2	選択		1
日本近現代文学入門	1	2	2	選択		1
漢文学入門	1	2	2	選択		1
日本語学概論Ⅰ	1	2	2	選択		1・2・3
日本語学概論Ⅱ	1	2	2	選択		1・2・3
日本語史概論Ⅰ	1	2	2	選択		1・2・3
日本語史概論Ⅱ	1	2	2	選択		1・2・3
日本文学概論(古典)AⅠ	1	2	2	選択	日本文学専攻は 12単位必修	1・2・3
日本文学概論(古典)AⅡ	1	2	2	選択		1・2・3
日本文学概論(古典)BⅠ	1	2	2	選択		1・2・3
日本文学概論(古典)BⅡ	1	2	2	選択		1・2・3
日本文学概論(近現代)Ⅰ	1	2	2	選択		1・2・3
日本文学概論(近現代)Ⅱ	1	2	2	選択		1・2・3
日本の文化(芸能)Ⅰ	1	2	2	選択		1・2・3
日本の文化(芸能)Ⅱ	1	2	2	選択		1・2・3
日本の文化(古典文化)Ⅰ	1	2	2	選択		1・2・3
日本の文化(古典文化)Ⅱ	1	2	2	選択		1・2・3
漢文学概論Ⅰ	1	2	2	選択		1・2・3
漢文学概論Ⅱ	1	2	2	選択		1・2・3

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	
Japanese Culture & Literature	1	2	2	選択	2・3	
日本史概論Ⅰ	1	2	2	選択	}	1・2
日本史概論Ⅱ	1	2	2	選択		1・2
アジア史概論Ⅰ	1	2	2	選択	}	歴史文化専攻は必修
アジア史概論Ⅱ	1	2	2	選択		
西洋史概論Ⅰ	1	2	2	選択	}	1・2
西洋史概論Ⅱ	1	2	2	選択		1・2
日本史の理論と方法	1	2	2	選択	}	2・3
アジア史の理論と方法	1	2	2	選択		歴史文化専攻は2単位必修
西洋史の理論と方法	1	2	2	選択		
宗教史	1	2	2	選択		1・2・3
法学概論	1	2	2	選択		1・2・3
政治学概論	1	2	2	選択		1・2・3
ミクロ経済学入門	1	2	2	選択		1・2・3
マクロ経済学入門	1	2	2	選択		1・2・3
社会学概論Ⅰ	1	2	2	選択		2・3
社会学概論Ⅱ	1	2	2	選択		2・3
特殊講義						
人文学総合講義	1	2	2	必修		3
現代哲学の課題と方法	1	2	2	選択	}	2・3・4
現代科学とテクノロジーの哲学	1	2	2	選択		2・3・4
応用倫理学の展望	1	2	2	選択	}	2・3・4
女性と生命倫理	1	2	2	選択		2・3・4
西洋の美学	1	2	2	選択	}	哲学専攻は10単位必修
日本と東洋の美学	1	2	2	選択		
芸術と社会	1	2	2	選択		2・3・4
キリスト教の思想・文化	1	2	2	選択		2・3・4
日本思想史	1	2	2	選択		2・3・4

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
日本語学(表記・語彙)A	1	2	2	選択	2・3・4
日本語学(表記・語彙)B	1	2	2	選択	2・3・4
日本語学(文法・談話)A	1	2	2	選択	2・3・4
日本語学(文法・談話)B	1	2	2	選択	2・3・4
日本語史(古代・中世語)A	1	2	2	選択	2・3・4
日本語史(古代・中世語)B	1	2	2	選択	2・3・4
日本語史(中世・近世語)A	1	2	2	選択	2・3・4
日本語史(中世・近世語)B	1	2	2	選択	2・3・4
社会言語学A	1	2	2	選択	2・3・4
社会言語学B	1	2	2	選択	2・3・4
比較文化A	1	2	2	選択	2・3・4
比較文化B	1	2	2	選択	2・3・4
表象文化A	1	2	2	選択	2・3・4
表象文化B	1	2	2	選択	2・3・4
日本古代文学A	1	2	2	選択	2・3・4
日本古代文学B	1	2	2	選択	2・3・4
日本中古文学A	1	2	2	選択	日本文学専攻は4単位必修 2・3・4
日本中古文学B	1	2	2	選択	2・3・4
日本中世文学A	1	2	2	選択	2・3・4
日本中世文学B	1	2	2	選択	2・3・4
日本近世文学A	1	2	2	選択	2・3・4
日本近世文学B	1	2	2	選択	2・3・4
日本近代文学A	1	2	2	選択	2・3・4
日本近代文学B	1	2	2	選択	2・3・4
日本近代文学C	1	2	2	選択	2・3・4
日本近代文学D	1	2	2	選択	2・3・4
日本現代文学A	1	2	2	選択	2・3・4
日本現代文学B	1	2	2	選択	2・3・4
日本現代文学C	1	2	2	選択	2・3・4
日本現代文学D	1	2	2	選択	2・3・4
日本文化学A	1	2	2	選択	2・3・4
日本文化学B	1	2	2	選択	2・3・4
中国の文学と文化A	1	2	2	選択	2・3・4
中国の文学と文化B	1	2	2	選択	2・3・4
書道	1	2	2	選択	3

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
日本古代史料論	1	2	2	選択	2・3・4
日本中世史料論	1	2	2	選択	2・3・4
日本近世史料論	1	2	2	選択	2・3・4
日本近現代史料論	1	2	2	選択	2・3・4
日本古代史	1	2	2	選択	2・3・4
日本中世史	1	2	2	選択	2・3・4
日本近世史	1	2	2	選択	2・3・4
日本近現代史	1	2	2	選択	2・3・4
オリエント史	1	2	2	選択	2・3・4
中国史	1	2	2	選択	歴史文化専攻は 8単位必修 2・3・4
インド史	1	2	2	選択	2・3・4
イスラーム史	1	2	2	選択	2・3・4
ギリシア・ローマ史	1	2	2	選択	2・3・4
イギリス史	1	2	2	選択	2・3・4
ドイツ史	1	2	2	選択	2・3・4
フランス史	1	2	2	選択	2・3・4
西洋前近代史A	1	2	2	選択	2・3・4
西洋前近代史B	1	2	2	選択	2・3・4
西洋近現代史A	1	2	2	選択	2・3・4
西洋近現代史B	1	2	2	選択	2・3・4
考古学(日本)	1	2	2	選択	2・3・4
考古学(アジア)	1	2	2	選択	2・3・4
考古学(西洋)	1	2	2	選択	2・3・4
美術史(日本)	1	2	2	選択	2・3・4
美術史(アジア)	1	2	2	選択	歴史文化専攻は 4単位必修 2・3・4
美術史(西洋)	1	2	2	選択	2・3・4
グローバル・ヒストリーA	1	2	2	選択	2・3・4
グローバル・ヒストリーB	1	2	2	選択	2・3・4
カルチュラル・ヒストリーA	1	2	2	選択	2・3・4
カルチュラル・ヒストリーB	1	2	2	選択	2・3・4
世界遺産学A	1	2	2	選択	2・3・4
世界遺産学B	1	2	2	選択	2・3・4
人文地理学	1	2	2	選択	2・3
自然地理学	1	2	2	選択	2・3
地誌学	1	2	2	選択	2・3

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
基盤演習					
人文学基礎演習	1	2	2	必修	1
哲学2年次演習Ⅰ	1	2	2	選択	哲学専攻は必修
哲学2年次演習Ⅱ	1	2	2	選択	
キリスト教学演習A	1	2	2	選択	2・3
キリスト教学演習B	1	2	2	選択	2・3
古典文学基礎演習(くずし字)	1	2	2	選択	1・2
古典文学基礎演習(解釈)	1	2	2	選択	1・2
日本古典文学演習(講読)A	1	2	2	選択	2・3
日本古典文学演習(講読)B	1	2	2	選択	2・3
現代日本語演習Ⅰ	1	2	2	選択	2・3
現代日本語演習Ⅱ	1	2	2	選択	2・3
日本語史演習Ⅰ	1	2	2	選択	2・3
日本語史演習Ⅱ	1	2	2	選択	2・3
社会言語学演習Ⅰ	1	2	2	選択	2・3
社会言語学演習Ⅱ	1	2	2	選択	2・3
日本古代文学演習AⅠ	1	2	2	選択	2・3
日本古代文学演習AⅡ	1	2	2	選択	2・3
日本古代文学演習BⅠ	1	2	2	選択	2・3
日本古代文学演習BⅡ	1	2	2	選択	2・3
日本中古文学演習AⅠ	1	2	2	選択	2・3
日本中古文学演習AⅡ	1	2	2	選択	2・3
日本中古文学演習BⅠ	1	2	2	選択	2・3
日本中古文学演習BⅡ	1	2	2	選択	2・3
日本中世文学演習AⅠ	1	2	2	選択	2・3
日本中世文学演習AⅡ	1	2	2	選択	2・3
日本中世文学演習BⅠ	1	2	2	選択	日本文学専攻は 10単位必修
日本中世文学演習BⅡ	1	2	2	選択	
日本近世文学演習AⅠ	1	2	2	選択	2・3
日本近世文学演習AⅡ	1	2	2	選択	2・3
日本近世文学演習BⅠ	1	2	2	選択	2・3
日本近世文学演習BⅡ	1	2	2	選択	2・3

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別		履修年次
日本文化演習A I	1	2	2	選択		2・3
日本文化演習A II	1	2	2	選択		2・3
日本文化演習B I	1	2	2	選択		2・3
日本文化演習B II	1	2	2	選択		2・3
日本近現代文学演習A I	1	2	2	選択		2・3
日本近現代文学演習A II	1	2	2	選択		2・3
日本近現代文学演習B I	1	2	2	選択		2・3
日本近現代文学演習B II	1	2	2	選択		2・3
日本近現代文学演習C I	1	2	2	選択		2・3
日本近現代文学演習C II	1	2	2	選択		2・3
日本近現代文学演習D I	1	2	2	選択		2・3
日本近現代文学演習D II	1	2	2	選択		2・3
漢文学演習A I	1	2	2	選択		2・3
漢文学演習A II	1	2	2	選択		2・3
漢文学演習B I	1	2	2	選択		2・3
漢文学演習B II	1	2	2	選択		2・3
古典籍調査	1	2	2	選択		2・3
言語調査 I	1	2	2	選択		2・3
言語調査 II	1	2	2	選択		2・3
言語情報処理 I	1	2	2	選択		2・3
言語情報処理 II	1	2	2	選択		2・3
創作と批評(創作) I	1	2	2	選択		2・3
創作と批評(創作) II	1	2	2	選択		2・3
創作と批評(批評) I	1	2	2	選択		2・3
創作と批評(批評) II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(日本古代)A I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(日本古代)A II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(日本古代)B I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(日本古代)B II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(日本中世)A I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(日本中世)A II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(日本中世)B I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(日本中世)B II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(日本近世)A I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(日本近世)A II	1	2	2	選択		2・3

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別		履修年次
文献・資料演習(日本近世)B I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(日本近世)B II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(日本近現代)A I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(日本近現代)A II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(日本近現代)B I	1	2	2	選択	歴史文化専攻は 8単位必修	2・3
文献・資料演習(日本近現代)B II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(アジア史)A I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(アジア史)A II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(アジア史)B I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(アジア史)B II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(西洋古代)A I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(西洋古代)A II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(西洋古代)B I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(西洋古代)B II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(西洋中世)A I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(西洋中世)A II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(西洋中世)B I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(西洋中世)B II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(西洋近世)A I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(西洋近世)A II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(西洋近世)B I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(西洋近世)B II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(西洋近現代)A I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(西洋近現代)A II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(西洋近現代)B I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習(西洋近現代)B II	1	2	2	選択		2・3
オーラル・ヒストリー	1	2	2	選択		2・3
発展演習						
西洋古代・中世哲学演習A I	1	2	2	選択		3・4
西洋古代・中世哲学演習A II	1	2	2	選択		3・4
西洋古代・中世哲学演習B I	1	2	2	選択		3・4
西洋古代・中世哲学演習B II	1	2	2	選択		3・4
西洋近代哲学演習A I	1	2	2	選択		3・4

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別		履修年次
西洋近代哲学演習AⅡ	1	2	2	選択	* }	3・4
西洋近代哲学演習BⅠ	1	2	2	選択		3・4
西洋近代哲学演習BⅡ	1	2	2	選択		3・4
現代哲学演習AⅠ	1	2	2	選択		3・4
現代哲学演習AⅡ	1	2	2	選択		3・4
現代哲学演習BⅠ	1	2	2	選択		3・4
現代哲学演習BⅡ	1	2	2	選択		3・4
倫理学演習AⅠ	1	2	2	選択		3・4
倫理学演習AⅡ	1	2	2	選択		3・4
倫理学演習BⅠ	1	2	2	選択		3・4
倫理学演習BⅡ	1	2	2	選択		3・4
東洋・日本思想史演習AⅠ	1	2	2	選択		3・4
東洋・日本思想史演習AⅡ	1	2	2	選択		3・4
東洋・日本思想史演習BⅠ	1	2	2	選択		3・4
東洋・日本思想史演習BⅡ	1	2	2	選択	3・4	
美学演習AⅠ	1	2	2	選択	* }	3・4
美学演習AⅡ	1	2	2	選択		3・4
美学演習BⅠ	1	2	2	選択		3・4
美学演習BⅡ	1	2	2	選択		3・4
文理融合演習A	1	2	2	選択	}	2・3・4
文理融合演習B	1	2	2	選択		2・3・4
日本文学演習Ⅰ	1	2	2	選択	} 日本文学専攻は必修	3
日本文学演習Ⅱ	1	2	2	選択		3
歴史文化演習Ⅰ	1	2	2	選択	} 歴史文化専攻は必修	3
歴史文化演習Ⅱ	1	2	2	選択		3
特殊演習						
人文学特殊演習(哲学)Ⅰ	1	2	2	選択	} 哲学専攻は必修	4
人文学特殊演習(哲学)Ⅱ	1	2	2	選択		4
人文学特殊演習(日本文学)Ⅰ	1	2	2	選択	} 日本文学専攻は必修	4
人文学特殊演習(日本文学)Ⅱ	1	2	2	選択		4
人文学特殊演習(歴史文化)Ⅰ	1	2	2	選択	} 歴史文化専攻は必修	4
人文学特殊演習(歴史文化)Ⅱ	1	2	2	選択		4
卒業論文						
卒業論文	2		8	必修		4

注1 1年次の自学科科目の履修は、20単位を上限とする。

- 2 基盤講義の「社会学概論Ⅰ」、「社会学概論Ⅱ」及び特殊講義の「書道」を履修するには、所定の教職課程登録を行っていないといけない。
- 3 哲学専攻の学生は、発展演習の「*」印の範囲において10単位を修得しなければならない。
- 4 人文学科の学生は、自学科科目のうち、必修科目、選択必修科目、選択科目合わせて64単位を修得しなければならない。
- 5 人文学科の学生が4年次に進級するには、前年度末までに、卒業に必要な単位数130単位のうち所定の科目の単位を含む86単位を修得しなければならない。

ウ 国際社会学科

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	
入門						
国際社会論	1	2	2	必修	1	
国際関係論Ⅰ	1	2	2	選択	国際関係専攻は必修	1・2
国際関係論Ⅱ	1	2	2	選択		1・2
文化人類学Ⅰ	1	2	2	選択		1・2
文化人類学Ⅱ	1	2	2	選択		1・2
ミクロ経済学入門	1	2	2	選択		1
マクロ経済学入門	1	2	2	選択		1
初級ミクロ経済学	1	2	2	選択	経済学専攻は必修	1
初級マクロ経済学	1	2	2	選択		1
経営学入門	1	2	2	選択		1
社会学概論Ⅰ	1	2	2	選択	社会学専攻は必修	1
社会学概論Ⅱ	1	2	2	選択		1
コミュニティ構想論	1	2	2	選択	コミュニティ構想専攻は	1・2
コミュニティ政策論	1	2	2	選択		1・2
コミュニティとジェンダー	1	2	2	選択	4単位必修	1・2
グローバル共生とコミュニティ	1	2	2	選択		1・2

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	
基礎講義						
政治学概論	1	2	2	選択	1・2	
法学概論	1	2	2	選択	1・2	
日本史概論	1	2	2	選択	1・2	
東洋史概論	1	2	2	選択	1・2	
西洋史概論	1	2	2	選択	国際関係専攻は 6単位必修	1・2
東アジア社会基礎論	1	2	2	選択		1・2
東南アジア社会基礎論	1	2	2	選択		1・2
アメリカ社会基礎論	1	2	2	選択		1・2
国際関係史	1	2	2	選択		1・2
統計学	1	2	2	選択		1・2
経済史	1	2	2	選択		2
経済学史	1	2	2	選択		2
経済数学	1	2	2	選択		2
中級ミクロ経済学	1	2	2	選択	経済学専攻は	2
中級マクロ経済学	1	2	2	選択	10単位必修	*1 2
公共経済学	1	2	2	選択		2
経済政策	1	2	2	選択		2
経営管理論	1	2	2	選択		2
経営組織論	1	2	2	選択		2
社会学史Ⅰ	1	2	2	選択	社会学専攻は必修	2
社会学史Ⅱ	1	2	2	選択		2
社会調査法A	1	2	2	選択		2
コミュニティと文化	1	2	2	選択		1・2・3
コミュニティと情報メディア	1	2	2	選択		1・2・3
ジェンダーと法	1	2	2	選択	コミュニティ構想専攻は 6単位必修	1・2・3
市民参加と法	1	2	2	選択		1・2・3
余暇ツーリズム論	1	2	2	選択		1・2・3
ツーリズムとジェンダー	1	2	2	選択		1・2・3
コミュニティ計測法基礎	1	2	2	選択		1・2
実践的研究計画法(研究計画)	1	2	2	選択	コミュニティ構想専攻は	1・2・3・4
実践的研究計画法(研究構想)	1	2	2	選択	2単位必修	1・2・3・4

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
応用講義					
ジェンダー国際関係論A	1	2	2	選択	2・3
ジェンダー国際関係論B	1	2	2	選択	2・3
人間の安全保障	1	2	2	選択	2・3
日本政治外交史A	1	2	2	選択	2・3
日本政治外交史B	1	2	2	選択	2・3
朝鮮政治外交史Ⅰ	1	2	2	選択	2・3
朝鮮政治外交史Ⅱ	1	2	2	選択	2・3
中国政治外交史Ⅰ	1	2	2	選択	2・3
中国政治外交史Ⅱ	1	2	2	選択	2・3
アメリカ史Ⅰ	1	2	2	選択	2・3
アメリカ史Ⅱ	1	2	2	選択	2・3
国際関係法A	1	2	2	選択	2・3・4
国際関係法B	1	2	2	選択	2・3・4
国際機構論	1	2	2	選択	2・3・4
国際関係(日米)	1	2	2	選択	2・3・4
国際関係(日朝)	1	2	2	選択	2・3・4
国際関係(日中)	1	2	2	選択	2・3・4
日本政治思想史	1	2	2	選択	2・3・4
現代韓国論	1	2	2	選択	国際関係専攻は 8単位必修
韓国政治・経済論	1	2	2	選択	
現代中国論	1	2	2	選択	2・3・4
香港・台湾論	1	2	2	選択	2・3・4
現代アメリカ政治論	1	2	2	選択	2・3・4
現代アメリカの動態	1	2	2	選択	2・3・4
南アジア社会特論	1	2	2	選択	2・3・4
イスラム社会特論	1	2	2	選択	2・3・4
民族誌特論A	1	2	2	選択	2・3・4
民族誌特論B	1	2	2	選択	2・3・4
宗教人類学	1	2	2	選択	2・3・4
政治人類学	1	2	2	選択	2・3・4
人種・民族・国民	1	2	2	選択	2・3・4
人権・人道の人類学	1	2	2	選択	2・3・4

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
国際政治経済Ⅰ	1	2	2	選択	国際関係専攻は 6単位必修
国際政治経済Ⅱ	1	2	2	選択	
比較政治学Ⅰ	1	2	2	選択	
比較政治学Ⅱ	1	2	2	選択	
アジア国際関係論Ⅰ	1	2	2	選択	
アジア国際関係論Ⅱ	1	2	2	選択	
近現代日本研究(政治・外交)A	1	2	2	選択	
近現代日本研究(政治・外交)B	1	2	2	選択	
朝鮮研究Ⅰ	1	2	2	選択	
朝鮮研究Ⅱ	1	2	2	選択	
中国研究Ⅰ	1	2	2	選択	
中国研究Ⅱ	1	2	2	選択	
アメリカ研究(政治・外交)Ⅰ	1	2	2	選択	
アメリカ研究(政治・外交)Ⅱ	1	2	2	選択	
アメリカ研究(社会史)Ⅰ	1	2	2	選択	
アメリカ研究(社会史)Ⅱ	1	2	2	選択	
日米比較研究Ⅰ	1	2	2	選択	
日米比較研究Ⅱ	1	2	2	選択	
周縁世界とグローバル化Ⅰ	1	2	2	選択	
周縁世界とグローバル化Ⅱ	1	2	2	選択	
東アジアの文化と社会	1	2	2	選択	
民族と世界	1	2	2	選択	
国際経済学	1	2	2	選択	
開発経済学	1	2	2	選択	
計量経済学	1	2	2	選択	
環境経済学	1	2	2	選択	
労働経済学	1	2	2	選択	
金融論	1	2	2	選択	
財政学	1	2	2	選択	
日本経済論	1	2	2	選択	
ゲームの理論	1	2	2	選択	
産業組織論	1	2	2	選択	
都市・地域経済学	1	2	2	選択	
ジェンダーの経済学	1	2	2	選択	
女性起業論	1	2	2	選択	

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別			履修年次
				必修	選択必修	選択	
福祉の経済学	1	2	2	選択			2・3・4
現代経済論	1	2	2	選択			2・3・4
アメリカ経済論	1	2	2	選択			2・3・4
EU 経済論	1	2	2	選択	経済学専攻は 4単位必修		2・3・4
アジア経済論	1	2	2	選択			2・3・4
中国経済論	1	2	2	選択			2・3・4
日本経済史	1	2	2	選択		*1	2・3・4
経営史	1	2	2	選択			2・3・4
保険論	1	2	2	選択			2・3・4
証券論	1	2	2	選択			2・3・4
中小企業論	1	2	2	選択			2・3・4
経済法	1	2	2	選択			2・3・4
企業法	1	2	2	選択			2・3・4
労働法	1	2	2	選択			2・3・4
経営戦略論	1	2	2	選択			2・3・4
マーケティング	1	2	2	選択			2・3・4
簿記論	1	2	2	選択			2・3・4
財務会計	1	2	2	選択			2・3・4
管理会計	1	2	2	選択			2・3・4
ロジスティクス論	1	2	2	選択			2・3・4
経営ファイナンス論	1	2	2	選択			2・3・4
社会調査法B	1	2	2	選択			2・3・4
社会調査法C	1	2	2	選択			2・3・4
社会統計学Ⅰ	1	2	2	選択			2・3・4
社会統計学Ⅱ	1	2	2	選択			2・3・4
家族社会学Ⅰ	1	2	2	選択			2・3・4
家族社会学Ⅱ	1	2	2	選択			2・3・4
地域社会学	1	2	2	選択			2・3・4
都市社会学	1	2	2	選択			2・3・4
現代社会論	1	2	2	選択	社会学専攻は14単位必修		2・3・4
日本社会論	1	2	2	選択			2・3・4
政治社会学	1	2	2	選択			2・3・4
公共社会学	1	2	2	選択			2・3・4

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別		履修年次
労働社会学Ⅰ	1	2	2	選択		2・3・4
労働社会学Ⅱ	1	2	2	選択		2・3・4
産業社会学	1	2	2	選択		2・3・4
組織社会学	1	2	2	選択		2・3・4
ライフコースの社会学	1	2	2	選択		2・3・4
福祉社会学	1	2	2	選択		2・3・4
臨床社会学	1	2	2	選択		2・3・4
文化社会学	1	2	2	選択		2・3・4
比較社会学	1	2	2	選択		2・3・4
多文化の社会学	1	2	2	選択		2・3・4
国際社会学	1	2	2	選択		2・3・4
グローバル化の社会学	1	2	2	選択		2・3・4
コミュニティと心理学	1	2	2	選択		2・3・4
コミュニティとリーダーシップ	1	2	2	選択		2・3・4
ソーシャル・キャピタル論	1	2	2	選択		2・3・4
ソーシャル・サポート	1	2	2	選択		2・3・4
公共生活と法	1	2	2	選択		2・3・4
まちづくりと法	1	2	2	選択		2・3・4
地域共生とツーリズム	1	2	2	選択		2・3・4
地域共生とイノベーション	1	2	2	選択		2・3・4
コミュニティとリスク	1	2	2	選択		2・3・4
ホスピタリティ論	1	2	2	選択		2・3・4
コミュニティ・デザイン論	1	2	2	選択	コミュニティ構想専攻は 12単位必修	2・3・4
グローバル化とまちづくり	1	2	2	選択		2・3・4
世界遺産学A	1	2	2	選択		2・3・4
世界遺産学B	1	2	2	選択		2・3・4
コミュニティ調査法A	1	2	2	選択		2・3
コミュニティ調査法B	1	2	2	選択		2・3
コミュニティ計測法A	1	2	2	選択		2・3・4
コミュニティ計測法B	1	2	2	選択		2・3・4
都市フィールドワーク	1	2	2	選択		2・3・4
人文地理学	1	2	2	選択		2・3
自然地理学	1	2	2	選択		2・3
地誌学	1	2	2	選択		2・3

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
基礎演習					
国際社会基礎演習	1	2	2	必修	1
基礎演習(国際関係)	1	2	2	選択 国際関係専攻は必修	1
基礎演習(経済学)	1	2	2	選択 経済学専攻は必修	1
基礎演習(社会学)	1	2	2	選択 社会学専攻は必修	1
基礎演習(コミュニティ構想)	1	2	2	選択 コミュニティ構想専攻は必修	1
2年次演習(国際関係) I	1	2	2	選択 } 国際関係専攻は必修	2
2年次演習(国際関係) II	1	2	2	選択 }	2
2年次演習(経済学) I	1	2	2	選択 } 経済学専攻は必修	2
2年次演習(経済学) II	1	2	2	選択 }	2
2年次演習(社会学) I	1	2	2	選択 } 社会学専攻は必修	2
2年次演習(社会学) II	1	2	2	選択 }	2
2年次演習(コミュニティ構想) I	1	2	2	選択 } コミュニティ構想専攻は必修	2
2年次演習(コミュニティ構想) II	1	2	2	選択 }	2
発展演習					
社会調査実習 I	1	2	2	選択 社会学専攻は必修 } *1	3
社会調査実習 II	1	2	2	選択 社会学専攻は必修 }	3
コミュニティ拠点実習(キャリア構想)	1	2	2	選択	2
コミュニティ拠点実習(キャリア実践)	1	2	2	選択	3
コミュニティ拠点実習(地域構想)	1	2	2	選択	*2 2
コミュニティ拠点実習(地域実践)	1	2	2	選択	3
コミュニティ調査実習(企画・立案・設計)	1	2	2	選択	3・4
コミュニティ調査実習(実査と分析)	1	2	2	選択	3・4
3年次演習(国際関係)I	1	2	2	選択 } 国際関係専攻は必修	3
3年次演習(国際関係) II	1	2	2	選択 }	3
3年次演習(経済学)I	1	2	2	選択 } 経済学専攻は必修	3
3年次演習(経済学) II	1	2	2	選択 }	3
3年次演習(社会学)I	1	2	2	選択 } 社会学専攻は必修	3
3年次演習(社会学) II	1	2	2	選択 }	3
3年次演習(コミュニティ構想)I	1	2	2	選択 } コミュニティ構想専攻は必修	3
3年次演習(コミュニティ構想) II	1	2	2	選択 }	3

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	
4年次演習(国際関係)I	1	2	2	選択	国際関係専攻は必修	4
4年次演習(国際関係)II	1	2	2	選択		4
4年次演習(経済学)I	1	2	2	選択	経済学専攻は必修	4
4年次演習(経済学)II	1	2	2	選択		4
4年次演習(社会学)I	1	2	2	選択	社会学専攻は必修	4
4年次演習(社会学)II	1	2	2	選択		4
4年次演習(コミュニティ構想)I	1	2	2	選択	コミュニティ構想専攻は必修	4
4年次演習(コミュニティ構想)II	1	2	2	選択		4
卒業論文						
卒業論文	2		8	必修		4

注1 1年次の自学科科目の履修は、20単位を上限とする。

2 経済学専攻の学生は、基礎講義、応用講義及び発展演習の「*1」印の範囲において4単位を修得しなければならない。ただし、選択必修科目の単位として修得した単位を除く。

3 コミュニティ構想専攻の学生は、発展演習の「*2」印の範囲において4単位を修得しなければならない。

4 国際社会学科の学生は、自学科科目のうち必修科目、選択必修科目、選択科目合わせて64単位を修得しなければならない。

5 国際社会学科の学生が4年次に進級するには、前年度末までに、卒業に必要な単位数130単位のうち所定の科目の単位を含む86単位を修得しなければならない。

エ 心理・コミュニケーション学科

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	
入門						
心理・コミュニケーション概論	1	2	2	必修	1	
心理学概論	1	2	2	必修	1	
コミュニケーション概論Ⅰ	1	2	2	必修	1	
コミュニケーション概論Ⅱ(メディア)	1	2	2	選択	コミュニケーション専攻は 必修	1
コミュニケーション概論Ⅱ(情報デザイン)	1	2	2	選択		1
コミュニケーション概論Ⅱ(多文化)	1	2	2	選択		1
基盤講義						
基礎心理学概論	1	2	2	選択	心理学専攻は必修	1
社会心理学概論	1	2	2	選択		1
発達心理学概論	1	2	2	選択		2
臨床心理学概論	1	2	2	選択		2
心理学統計法1	1	2	2	選択	コミュニケーション専攻は 必修	1
心理学統計法2	1	2	2	選択		2
コミュニケーション統計法1	1	2	2	選択		2
コミュニケーション統計法2	1	2	2	選択		2
先端トピック概論(コミュニケーション)A	1	2	2	選択	コミュニケーション専攻は 2単位必修	1
先端トピック概論(コミュニケーション)B	1	2	2	選択		1
特殊講義						
思考心理学	1	2	2	選択	心理学専攻は2単位必修	2・3・4
知覚心理学	1	2	2	選択		2・3・4
生理心理学	1	2	2	選択		2・3・4
認知心理学	1	2	2	選択		2・3・4

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	
社会心理学(個人内過程)	1	2	2	選択	2・3・4	
社会心理学(対人過程)	1	2	2	選択	心理学専攻は2単位必修	2・3・4
社会心理学(マクロ・集団)	1	2	2	選択		2・3・4
社会心理学(応用)	1	2	2	選択		2・3・4
発達心理学(情動発達)	1	2	2	選択		2・3・4
発達心理学(社会発達)	1	2	2	選択	心理学専攻は2単位必修	2・3・4
発達心理学(認知発達)	1	2	2	選択		2・3・4
教育心理学	1	2	2	選択		2・3・4
家族心理学	1	2	2	選択		2・3・4
キャリアと産業組織の心理学	1	2	2	選択	心理学専攻は2単位必修	2・3・4
心理療法論	1	2	2	選択		2・3・4
学校臨床心理学	1	2	2	選択		2・3・4
精神保健学	1	2	2	選択		2・3・4
精神医学	1	2	2	選択		2・3・4
心理学特論	1	2	2	選択		2・3・4
メディア心理学	1	2	2	選択		2・3・4
コミュニケーション心理学A	1	2	2	選択		2・3・4
コミュニケーション心理学B	1	2	2	選択		2・3・4
メディアとことば	1	2	2	選択		2・3・4
メディア社会論	1	2	2	選択		2・3・4
メディア文化論	1	2	2	選択	コミュニケーション専攻は	2・3・4
メディア産業論	1	2	2	選択	2単位必修	2・3・4
メディア史	1	2	2	選択		2・3・4
ジャーナリズムと現代社会	1	2	2	選択		2・3・4
広告と消費者心理	1	2	2	選択		2・3・4
ジェンダーとメディア	1	2	2	選択		2・3・4
グローバルメディア	1	2	2	選択		2・3・4

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別		履修年次
デザイン思考Ⅰ	1	2	2	選択		2・3・4
デザイン思考Ⅱ	1	2	2	選択		2・3・4
ユニバーサルデザイン(人間中心設計)	1	2	2	選択		2・3・4
ユニバーサルデザイン(心理物理)	1	2	2	選択		2・3・4
デザイン心理(視覚)	1	2	2	選択		2・3・4
デザイン心理(聴覚)	1	2	2	選択		2・3・4
ICTリテラシーⅠ	1	2	2	選択	コミュニケーション専攻は 2単位必修	2・3・4
ICTリテラシーⅡ	1	2	2	選択		2・3・4
インターネット・バイ・デザインⅠ	1	2	2	選択		2・3・4
インターネット・バイ・デザインⅡ	1	2	2	選択		2・3・4
Web デザイン	1	2	2	選択		2・3・4
SNS コミュニティデザイン	1	2	2	選択		* 2・3・4
ユーザニーズ分析	1	2	2	選択		2・3・4
コミュニケーションと女性のキャリア	1	2	2	選択		2・3・4
多文化コミュニケーション	1	2	2	選択		2・3・4
対人コミュニケーション(家族)	1	2	2	選択		2・3・4
対人コミュニケーション(社会)	1	2	2	選択		2・3・4
対人コミュニケーション(ジェンダー)	1	2	2	選択		2・3・4
ダイバーシティとコミュニケーション	1	2	2	選択		2・3・4
文化心理学(文化と自己)	1	2	2	選択	コミュニケーション専攻は 2単位必修	2・3・4
文化心理学(文化と認知)	1	2	2	選択		2・3・4
文化心理学(グローバル社会)	1	2	2	選択		2・3・4
多文化教育	1	2	2	選択		2・3・4
日本語教育研究概論Ⅰ	1	2	2	選択		2
日本語教育研究概論Ⅱ	1	2	2	選択		2

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別		履修年次
日本語教育研究Ⅰ	1	2	2	選択		3
日本語教育研究Ⅱ	1	2	2	選択		3
多文化コミュニケーション・デザイン	1	2	2	選択		2・3・4
ことばと文化	1	2	2	選択		2・3・4
言語コミュニケーション能力の発達	1	2	2	選択		2・3・4
言語の多様性と普遍性 A	1	2	2	選択		2・3・4
言語の多様性と普遍性 B	1	2	2	選択		2・3・4
第二言語習得基礎論 A	1	2	2	選択		2
第二言語習得基礎論 B	1	2	2	選択		2
社会言語学 A	1	2	2	選択		2・3・4
社会言語学 B	1	2	2	選択		2・3・4
日本語学(表記・語彙)A	1	2	2	選択		2・3・4
日本語学(表記・語彙)B	1	2	2	選択		2・3・4
日本語学(文法・談話)A	1	2	2	選択		2・3・4
日本語学(文法・談話)B	1	2	2	選択		2・3・4
基盤演習						
1年次演習(心理学)	1	2	2	選択	心理学専攻は必修	1
2年次演習(心理学)A	1	2	2	選択		2
2年次演習(心理学)B	1	2	2	選択		2
心理学実験入門	1	2	2	選択		1
1年次演習(コミュニケーション)	1	2	2	選択	コミュニケーション専攻は必修	1
2年次演習(コミュニケーション)	1	2	2	選択		2
コミュニケーション研究法入門	1	4	4	選択		2
アプリ作成入門	1	2	2	選択		1
WebプログラミングⅠ	1	2	2	選択		2
WebプログラミングⅡ	1	2	2	選択	*	2
オーラルコミュニケーションスキルズ	1	2	2	選択		2・3
言語情報処理Ⅰ	1	2	2	選択		2・3
言語情報処理Ⅱ	1	2	2	選択		2・3

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別		履修年次
発展演習						
3年次演習(心理学)	1	2	2	選択		3
4年次演習(心理学)A	1	2	2	選択	心理学専攻は必修	4
4年次演習(心理学)B	1	2	2	選択		4
心理学特殊演習(先端)	1	2	2	選択		3・4
心理学特殊演習(応用)	1	2	2	選択		3・4
3年次演習(コミュニケーション) I	1	2	2	選択	コミュニケーション専攻は必修	3
3年次演習(コミュニケーション) II	1	2	2	選択		3
4年次演習(コミュニケーション) I	1	2	2	選択		4
4年次演習(コミュニケーション) II	1	2	2	選択		4
コミュニケーション研究法実習(実験法)	1	2	2	選択	コミュニケーション専攻は2単位	3
コミュニケーション研究法実習(内容分析)	1	2	2	選択		3
コミュニケーション研究法実習(質的研究)	1	2	2	選択	必修	3
社会調査法実習(質問紙調査) I	1	2	2	選択	コミュニケーション専攻は	3
社会調査法実習(質問紙調査) II	1	2	2	選択		3
多変量解析	1	2	2	選択	2単位必修	3
実験・実習						
心理検査実習 I	1	2	1	選択	心理学専攻は必修	1
心理検査実習 II	1	2	1	選択		2
心理学実験演習 I A	1	2	1	選択	心理学専攻は必修	2
心理学実験演習 I B	1	4	2	選択		2
心理学実験演習 II (実験法)	1	2	1	選択	心理学専攻は1単位必修	3
心理学実験演習 II (調査法)	1	2	1	選択		3
心理学実験演習 II (質的アプローチ)	1	2	1	選択		3
心理学実験演習 III (実験法)	1	2	1	選択		3・4

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
心理学特殊実験演習	1	4	2	選択 心理学専攻は必修	3
日本語教育実習	2	2	4	選択	4
卒業論文					
卒業論文	2		8	必修	4

注1 1年次の自学科科目の履修は、20単位を上限とする。

- 2 「心理学統計法2」を履修するには、「心理学統計法1」2単位を修得していなければならない。
- 3 「コミュニケーション統計法2」を履修するには、「コミュニケーション統計法1」2単位を修得していなければならない。
- 4 コミュニケーション専攻の学生は、特殊講義及び基盤演習の「*」印の範囲において10単位を修得しなければならない。
ただし、必ず特殊講義の選択必修3科目計6単位を含めなければならない。
- 5 「日本語教育研究Ⅰ」及び「日本語教育研究Ⅱ」を履修するには、次の2科目計4単位を修得していなければならない。
「第二言語習得基礎論A」又は「第二言語習得基礎論B」のうち1科目2単位
「日本語教育研究概論Ⅰ」又は「日本語教育研究概論Ⅱ」のうち1科目2単位
- 6 「日本語教育実習」を履修するには、次の5科目計10単位を修得していなければならない。
「第二言語習得基礎論A」「第二言語習得基礎論B」「日本語教育研究概論Ⅰ」「日本語教育研究概論Ⅱ」の4科目計8単位
「日本語教育研究Ⅰ」又は「日本語教育研究Ⅱ」のうち1科目2単位
- 7 心理・コミュニケーション学科の学生は、自学科科目のうち必修科目、選択必修科目、選択科目合わせて64単位を修得しなければならない。
- 8 心理・コミュニケーション学科の学生が4年次に進級するには、前年度末までに、卒業に必要な単位数130単位のうち所定の科目の単位を含む86単位を修得しなければならない。

オ 数理科学科

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
数学基礎					
微分積分学Ⅰ	1	2	2	必修	1
微分積分学Ⅱ	1	2	2	必修	1
微分積分学演習Ⅰ	1	2	1	必修	1
微分積分学演習Ⅱ	1	2	1	必修	1
線形代数学Ⅰ	1	2	2	必修	1
線形代数学Ⅱ	1	2	2	必修	1
線形代数学演習Ⅰ	1	2	1	必修	1
線形代数学演習Ⅱ	1	2	1	必修	1
解析学					
解析学概論Ⅰ	1	2	2	選択*1*2	2
解析学概論Ⅱ	1	2	2	選択*1*2	2
解析学の応用	1	2	2	選択*1*2*5	2
連続と極限	1	2	2	選択*1*2	2
複素関数論Ⅰ	1	2	2	選択*1	3
複素関数論Ⅱ	1	2	2	選択*1	3
関数解析学	1	2	2	選択*1	3・4
数理モデルと微分方程式	1	2	2	選択*1	3・4
数理解析学	1	2	2	選択*1	3・4
情報解析学	1	2	2	選択*1*5	3・4
代数学					
線形代数学Ⅲ	1	2	2	選択*1*3	2
代数学A	1	2	2	選択*1*3	2
代数学B	1	2	2	選択*1*3*5	2
情報代数学	1	2	2	選択*1*3*5	2
代数学CⅠ	1	2	2	選択*1	3
代数学CⅡ	1	2	2	選択*1	3
代数学特論AⅠ	1	2	2	選択*1	3・4
代数学特論AⅡ	1	2	2	選択*1	3・4
代数学特論BⅠ	1	2	2	選択*1	3・4
代数学特論BⅡ	1	2	2	選択*1	3・4

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
幾何学					
位相数学Ⅰ	1	2	2	選択*1*4	2
位相数学Ⅱ	1	2	2	選択*1*4	2
グラフ理論	1	2	2	選択*1*4*5	2
幾何学A	1	2	2	選択*1*4*5	2
幾何学BⅠ	1	2	2	選択*1	3・4
幾何学BⅡ	1	2	2	選択*1	3・4
結び目理論Ⅰ	1	2	2	選択*1	3・4
結び目理論Ⅱ	1	2	2	選択*1	3・4
幾何学特論AⅠ	1	2	2	選択*1	4
幾何学特論AⅡ	1	2	2	選択*1	4
幾何学特論BⅠ	1	2	2	選択*1	4
幾何学特論BⅡ	1	2	2	選択*1	4
確率論・統計学					
確率統計Ⅰ	1	2	2	選択*1*4	2
確率統計Ⅱ	1	2	2	選択*1*4	2
数理モデルと確率論Ⅰ	1	2	2	選択*1	3
数理モデルと確率論Ⅱ	1	2	2	選択*1	3
確率統計特論AⅠ	1	2	2	選択*1	3・4
確率統計特論AⅡ	1	2	2	選択*1	3・4
確率統計特論BⅠ	1	2	2	選択*1	3・4
確率統計特論BⅡ	1	2	2	選択*1	3・4
情報科学					
情報学概論	1	2	2	選択*1*5*6	1
アルゴリズムとデータ構造	1	2	2	選択 情報理学専攻は 必修	2
ネットワークⅠ	1	2	2	選択*5*7	2
プログラミング	1	2	2	選択*1*5	2
数値計算	1	2	2	選択*1*5*7	2
マルチメディア概論	1	2	2	選択*5	2・3・4
ソフトウェア工学	1	2	2	選択*5	2・3・4
情報と職業	1	2	2	選択*1*5	2・3・4

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
ネットワークⅡ	1	2	2	選択*5	3・4
オペレーティングシステム	1	2	2	選択*5	3・4
データベースA	1	2	2	選択*5	3・4
データベースB	1	2	2	選択*5	3・4
オートマトン	1	2	2	選択*5	3・4
計算幾何学	1	2	2	選択*1*5	3・4
情報学特論	1	2	2	選択*5	3・4
応用数学					
物理学概論	1	2	2	選択*5*6	1
化学概論	1	2	2	選択*5*6	1
生物学概論	1	2	2	選択*5*6	1
力学	1	2	2	選択*5*7	2
電磁気学	1	2	2	選択*5*7	2
物理化学	1	2	2	選択*5*7	2
相対性理論	1	2	2	選択*5*7	2・3
量子力学	1	2	2	選択*5*7	2・3
数理化学	1	2	2	選択*5*7	2・3
生物学特論 A	1	2	2	選択*5*7	2・3
生物学特論 B	1	2	2	選択*5*7	2・3
現代化学A	1	2	2	選択*5	2・3・4
現代化学B	1	2	2	選択*5	2・3・4
現代生物学 A	1	2	2	選択*5	2・3・4
現代生物学 B	1	2	2	選択*5	2・3・4
現代物理学 A	1	2	2	選択*1*5	3・4
現代物理学 B	1	2	2	選択*1*5	3・4
数理生物学	1	2	2	選択*5	3・4
数理科学シミュレーション					
シミュレーション A I	1	2	2	選択*1*5*8	3
シミュレーション A II	1	2	2	選択*1*5	3
シミュレーション B I	1	2	2	選択*1*5*8	3
シミュレーション B II	1	2	2	選択*1*5	3

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
シミュレーションC	1	2	2	選択*5*8	3
シミュレーションD	1	2	2	選択*5*8	3
基盤演習					
1年次演習(数学)	1	2	2	選択 数学専攻は必修	1
1年次演習(情報理学)	1	2	2	選択 情報理学専攻は必修	1
数理科学演習					
2年次演習(情報理学)	1	2	2	選択 情報理学専攻は必修	2
3年次演習(数学)	1	2	2	選択 数学専攻は必修	3
3年次演習(情報理学)	1	2	2	選択 情報理学専攻は必修	3
講究					
数学講究	2	2	4	選択 数学専攻は必修	4
情報理学講究	2	2	4	選択 情報理学専攻は必修	4
関連科目					
経済数学	1	2	2	選択	2
ゲームの理論	1	2	2	選択	2・3・4
経営ファイナンス論	1	2	2	選択	2・3・4
文理融合演習A	1	2	2	選択	2・3・4
文理融合演習B	1	2	2	選択	2・3・4

注1 1年次の自学科科目の履修は、20単位を上限とする。

2 数学専攻の学生は、以下の①、②、③の合計12単位を修得しなければならない。

①解析学の「*2」印の4科目のうち4単位

②代数学の「*3」印の4科目のうち4単位

③幾何学及び確率論・統計学の「*4」印の6科目のうち4単位

3 数学専攻の学生は、「*1」印の範囲において8単位を修得しなければならない。ただし、注2の選択必修科目の単位として修得する科目は除く。

4 情報理学専攻の学生は、以下の①②③の合計14単位を修得しなければならない。

①情報科学及び応用数理学の「*6」印の4科目のうち4単位

②情報科学及び応用数理学の「*7」印の10科目のうち8単位

③数理科学シミュレーションの「*8」印の4科目のうち2単位

5 情報理学専攻の学生は、解析学、代数学、幾何学、情報科学、応用数理学及び数理科学シミュレーションの「*5」印の範囲において2単位を修得しなければならない。

ただし、注4の選択必修の単位として修得する単位を除く。

6 数理科学科の学生は、自学科科目の必修科目、選択必修科目、選択科目合わせて72単位修得しなければならない。

7 数理科学科の学生が4年次に進級するには、前年度末までに、卒業に必要な単位数130単位のうち所定の科目の単位を含む86単位を修得しなければならない。

(8) 教職課程科目

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	
教職に関する科目						
教職論	1	2	2	必修	1・2・3	
教育原論	1	2	2	必修	2・3・4	
教育心理学	1	2	2	必修	2・3・4	
教育社会学	1	2	2	必修	2・3・4	
教育課程・教育方法論	1	2	2	必修	2・3	
各 教 科 の 指 導 法	英語科教育法ⅠA *	1	2	2	選択必修 (中・高 英語必修)	2
	英語科教育法ⅠB *	1	2	2	選択必修 (中・高 英語必修)	3
	英語科教育法ⅡA *	1	2	2	選択必修	3 (中 英語2単位必修)
	英語科教育法ⅡB *	1	2	2	選択必修	
	宗教科教育法ⅠA *	1	2	2	選択必修 (中・高 宗教必修)	2・3
	宗教科教育法ⅠB *	1	2	2	選択必修 (中・高 宗教必修)	2・3
	宗教科教育法ⅡA *	1	2	2	選択必修	2・3 (中 宗教2単位必修)
	宗教科教育法ⅡB *	1	2	2	選択必修	
	国語科教育法ⅠA *	1	2	2	選択必修 (中・高 国語必修)	2・3
	国語科教育法ⅠB *	1	2	2	選択必修 (中・高 国語必修)	2・3
	国語科教育法ⅡA *	1	2	2	選択必修	2・3 (中 国語2単位必修)
	国語科教育法ⅡB *	1	2	2	選択必修	
	社会・地理歴史科教育法Ⅰ *	1	2	2	選択必修 (中社会・高地歴必修)	2・3
	社会・地理歴史科教育法Ⅱ *	1	2	2	選択必修 (中社会・高地歴必修)	2・3
	社会・公民科教育法Ⅰ *	1	2	2	選択必修 (中社会・高公民必修)	2・3
	社会・公民科教育法Ⅱ *	1	2	2	選択必修 (中社会・高公民必修)	2・3
	情報科教育法Ⅰ *	1	2	2	選択必修 (高 情報必修)	2・3
	情報科教育法Ⅱ *	1	2	2	選択必修 (高 情報必修)	2・3
	数学科教育法ⅠA *	1	2	2	選択必修 (中・高 数学必修)	2・3
	数学科教育法ⅠB *	1	2	2	選択必修 (中・高 数学必修)	2・3
数学科教育法ⅡA *	1	2	2	選択必修	2・3 (中 数学2単位必修)	
数学科教育法ⅡB *	1	2	2	選択必修		
道徳教育の理論と方法 *	1	2	2	必修 (中学 必修)	2・3・4	
特別活動論 *	1	2	2	必修	2・3・4	
生徒・進路指導論 *	1	2	2	必修	2・3・4	
教育相談 *	1	2	2	必修	2・3	
教育実習事前事後指導 *	1	1	1	必修	3	
教育実習 *	1		4	必修	4	
教職実践演習(中・高) *	1	2	2	必修	4	
介護等の体験関連科目						
特別支援教育と社会福祉	1	2	2	必修 (中学 必修)	1・2・3	

- 注1 2年次以上で教職課程科目(「教職論」を除く。)を履修するには、所定の教職課程登録を行っていないといけない。
- 2 「教育実習」を履修するには、以下の科目を含む上記教職に関する科目 23 単位を3年次修了までに修得していなければならない。(「特別支援教育と社会福祉」は、23 単位に含まれないので注意すること。)

「教職論」2 単位、「教育課程・教育方法論」2 単位、各教科の指導法(注 3)6 単位、「教育相談」2 単位、
「教育実習事前事後指導」1 単位

- 3 各教科の指導法とは、以下の授業科目をいう。

免許教科	授業科目
英語	英語科教育法ⅠA、英語科教育法ⅠB、英語科教育法ⅡA、英語科教育法ⅡB
宗教	宗教科教育法ⅠA、宗教科教育法ⅠB、宗教科教育法ⅡA、宗教科教育法ⅡB
国語	国語科教育法ⅠA、国語科教育法ⅠB、国語科教育法ⅡA、国語科教育法ⅡB
社会	社会・地理歴史科教育法Ⅰ、社会・地理歴史科教育法Ⅱ、 社会・公民科教育法Ⅰ、社会・公民科教育法Ⅱ
地理歴史	社会・地理歴史科教育法Ⅰ、社会・地理歴史科教育法Ⅱ
公民	社会・公民科教育法Ⅰ、社会・公民科教育法Ⅱ
情報	情報科教育法Ⅰ、情報科教育法Ⅱ
数学	数学科教育法ⅠA、数学科教育法ⅠB、数学科教育法ⅡA、数学科教育法ⅡB

- 4 *印の授業科目の単位は、自由選択科目の単位として数えることはできない。
- 5 介護等の体験を行うためには、「特別支援教育と社会福祉」2 単位を介護等の体験を行う年度の前年度末までに修得していなければならない。

(9) 学芸員課程科目

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
博物館概論	1	2	2	必修	2
博物館資料論	1	2	2	必修	2
博物館経営論	1	2	2	必修	2・3
博物館資料保存論	1	2	2	必修	2・3
博物館展示論	1	2	2	必修	2・3
博物館教育論	1	2	2	必修	2・3
生涯学習論	1	2	2	必修	2・3・4
博物館情報・メディア論	1	2	2	必修	2・3・4
博物館実習1*	1	2	1	必修	3
博物館実習2**	1	2	1	必修	3
博物館実習3***	2		1	必修	4

- 注1 学芸員課程科目を履修するには、2年次始めに所定の学芸員課程登録を行っていないといけない。
- 2 *印の「博物館実習1」を履修するには、上記必修科目のうち、次の4科目計8単位を修得していなければならない。
- 「博物館概論」及び「博物館資料論」の2科目計4単位
「博物館経営論」、「博物館資料保存論」、「博物館展示論」、「博物館教育論」のうち2科目計4単位
- 3 **印の「博物館実習2」を履修するには、上記必修科目のうち、次の5科目計9単位を修得していなければならない。
- 「博物館概論」及び「博物館資料論」の2科目計4単位
「博物館経営論」、「博物館資料保存論」、「博物館展示論」、「博物館教育論」のうち2科目計4単位
「博物館実習1」1単位
- 4 ***印の「博物館実習3」を履修するには、上記必修科目のうち、次の8科目計14単位並びに東京女子大学学芸員資格取得に関する内規に定める選択科目4単位を修得していなければならない。
- 「博物館概論」、「博物館資料論」、「博物館経営論」、「博物館資料保存論」、「博物館展示論」、「博物館教育論」、「博物館実習1」、「博物館実習2」
- 5 *印の「博物館実習1」、**印の「博物館実習2」及び***印の「博物館実習3」の単位は、自由選択科目の単位として数えることはできない。

(10) 外国人留学生特別科目

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
日本語Ⅰ(入門) *	1	8	4	必修	1
日本語Ⅱ(応用) *	1	8	4	必修	1
英語初級Ⅰ **	1	4	2	必修	1
英語初級Ⅱ **	1	4	2	必修	1
日本事情A ***	1	2	2	必修	1
日本事情B ***	1	2	2	必修	1
日本事情C ***	1	2	2	必修	2
日本事情D ***	1	2	2	必修	2

- 注1 外国人留学生特別科目は、外国人留学生のための科目である。
- 2 *印の「日本語Ⅰ(入門)」、「日本語Ⅱ(応用)」の2科目計8単位は、外国語科目のうち第一外国語の必修8単位とする。
- 3 **印の「英語初級Ⅰ」、「英語初級Ⅱ」の2科目計4単位は、外国語科目のうち第二外国語の必修5単位の内に含めることができる。
- 4 ***印の「日本事情A」、「日本事情B」、「日本事情C」、「日本事情D」各2単位は、総合教養科目の下記領域の各2単位に代えることができる。
- 「日本事情A」 → 「人間社会の仕組みと問題」領域の2単位
 - 「日本事情B」 → 「人間の知的生産」領域の2単位
 - 「日本事情C」 → 「人間自身を知る」領域の2単位
 - 「日本事情D」 → 「人間の知的生産」領域の2単位

別表第1の2(第17条の4第2項関係)

日本語教員養成課程 授業科目及び単位数

区分		授業科目	単位数	履修年次	必修・選択必修・選択の別	
社会・文化・地域	日本語教育概論	日本語教育研究概論Ⅰ*	2	2	必修 2単位	
		日本語教育研究概論Ⅱ*	2	2	必修 2単位	
	日本と世界	歴史の見方	2	1・2・3・4	選択必修	4単位 必修
		地域社会論	2	1・2・3・4	選択必修	
		国際社会と日本	2	1・2・3・4	選択必修	
		グローバル経済のしくみ	2	1・2・3・4	選択必修	
		アジアの経済事情	2	1・2・3・4	選択必修	
		国際金融と貿易	2	1・2・3・4	選択必修	
		国際関係論Ⅰ	2	1・2	選択必修	
		国際関係論Ⅱ	2	1・2	選択必修	
		文化人類学Ⅰ	2	1・2	選択必修	
		コミュニティ構想論	2	1・2	選択必修	
		グローバル共生とコミュニティ	2	1・2	選択必修	
		東アジア社会基礎論	2	1・2	選択必修	
		文化社会学	2	2・3・4	選択必修	
	多文化教育	2	2・3・4	選択必修		
	異文化接触	国際社会学	2	2・3・4	選択必修	
言語と社会	言語と社会	ことばの世界	2	1・2・3・4	選択必修	4単位 必修
		比較文化A	2	2・3・4	選択必修	
		英語学(社会言語学)	2	2・3・4	選択必修	
		社会言語学A	2	2・3・4	選択必修	
		社会言語学B	2	2・3・4	選択必修	
		ことばと文化	2	2・3・4	選択必修	
	言語使用	英語学(語用論)	2	2・3・4	選択必修	
	異文化コミュニケーション	対人コミュニケーション(社会)	2	2・3・4	選択必修	
対人コミュニケーション(ジェンダー)		2	2・3・4	選択必修		
多文化コミュニケーション		2	2・3・4	選択必修		
言語と心理	言語習得	第二言語習得基礎論A*	2	2	必修 2単位	
		第二言語習得基礎論B*	2	2	必修 2単位	
	言語理解	脳の科学	2	1・2・3・4	選択必修	4単位 必修
		こころの科学	2	1・2・3・4	選択必修	
		こどものこころ	2	1・2・3・4	選択必修	
		言語コミュニケーション能力の発達	2	2・3・4	選択必修	
	異文化理解	異文化理解A	2	2	選択必修	
		異文化理解B	2	2	選択必修	
		翻訳基礎論	2	2	選択必修	
		翻訳学特論	2	2・3・4	選択必修	
		文化心理学(文化と自己)	2	2・3・4	選択必修	
文化心理学(文化と認知)		2	2・3・4	選択必修		
文化心理学(グローバル社会)	2	2・3・4	選択必修			

区分		授業科目	単位数	履修年次	必修・選択必修・選択の別	
言語と教育	言語教育法	日本語教育研究Ⅰ*	2	3	必修	2単位
		日本語教育研究Ⅱ*	2	3	必修	2単位
		日本語教育実習*	4	4	必修	4単位
		多文化コミュニケーション・デザイン	2	2・3・4	選択必修	
	言語教育と情報	情報と社会	2	1・2・3・4	選択必修	
		言語情報処理Ⅰ	2	2・3	選択必修	
		言語情報処理Ⅱ	2	2・3	選択必修	4単位
		コミュニティと情報メディア	2	1・2・3	選択必修	必修
		メディアとことば	2	2・3・4	選択必修	
		グローバルメディア	2	2・3・4	選択必修	
		デザイン心理(視覚)	2	2・3・4	選択必修	
		デザイン心理(聴覚)	2	2・3・4	選択必修	
		SNS コミュニティデザイン	2	2・3・4	選択必修	
言語一般	言語の構造	言語の多様性と普遍性 A	2	2・3・4	選択必修	
		言語の多様性と普遍性 B	2	2・3・4	選択必修	
		英語学(意味論)	2	2・3・4	選択必修	
		英語学(音韻論)	2	2・3・4	選択必修	
		英語学(形態・統語論)	2	2・3・4	選択必修	
		英語音声学	2	1	選択必修	
	日本語の構造	日本語学概論Ⅰ	2	1・2・3	選択必修	4単位
		日本語学概論Ⅱ	2	1・2・3	選択必修	必修
		日本語史概論Ⅰ	2	1・2・3	選択必修	
		日本語史概論Ⅱ	2	1・2・3	選択必修	
		日本語学(表記・語彙)A	2	2・3・4	選択必修	
		日本語学(表記・語彙)B	2	2・3・4	選択必修	
		日本語学(文法・談話)A	2	2・3・4	選択必修	
		日本語学(文法・談話)B	2	2・3・4	選択必修	
		日本語学(文法・談話)C	2	2・3・4	選択必修	
コミュニケーション能力	Communication Skills A **	1	1	選択必修		
	Communication Skills B **	1	1	選択必修		
	Discussion Skills A **	1	2	選択必修		
	Discussion Skills B **	1	2	選択必修		
	Speaking Skills A	1	2・3・4	選択必修		
	Speaking Skills B	1	2・3・4	選択必修		
	Listening and Presentation A	1	2・3・4	選択必修	4単位	
	Listening and Presentation B	1	2・3・4	選択必修	必修	
	Critical Reading and Discussion A	1	2・3・4	選択必修		
	Critical Reading and Discussion B	1	2・3・4	選択必修		
	英語特別プログラム	2	2・3・4	選択必修		
	日本語表現法	2	1・2 限定	選択必修		
	日本語Ⅰ(入門) ***	4	1	選択必修		
	日本語Ⅱ(応用) ***	4	1	選択必修		
日本語教員養成課程の修了に必要な最低単位数					40単位	

注1 日本語教員養成課程を履修する者は、2年次の履修登録時に所定の日本語教員養成課程登録を行うものとする。

2 日本語教員養成課程を修了するには、下記のとおり単位を修得しなければならない。

必修科目	*印の7科目	計16単位
選択必修科目	6つの区分から各4単位	計24単位
		合計40単位

3 「日本語教育研究Ⅰ」「日本語教育研究Ⅱ」を履修するには、次の2科目計4単位を修得していなければならない。

「日本語教育研究概論Ⅰ」又は「日本語教育研究概論Ⅱ」のうち1科目2単位

「第二言語習得基礎論A」又は「第二言語習得基礎論B」のうち1科目2単位

4 「日本語教育実習」を履修するには、次の5科目計10単位を修得していなければならない。

「日本語教育研究概論Ⅰ」「日本語教育研究概論Ⅱ」「第二言語習得基礎論A」「第二言語習得基礎論B」の4科目8単位、「日本語教育研究Ⅰ」又は「日本語教育研究Ⅱ」のうち1科目2単位

5 「コミュニケーション能力」の必修4単位は、外国語科目の必修として修得した**印の「Communication Skills A」、「Communication Skills B」、「Discussion Skills A」、「Discussion Skills B」の4科目の単位をもって満たすことができる。

6 外国人留学生は、「コミュニケーション能力」の必修4単位を、外国人留学生特別科目の必修として修得した***印の「日本語Ⅰ(入門)」、「日本語Ⅱ(応用)」の2科目の単位をもって満たすことができる。

別表第2(第23条第2項及び第34条第1項関係)

入学検定料、入学金、学費及び在籍料

費目		金額	備考
入学検定料		35,000円	
		15,000円	大学入試センター試験 3教科型入学試験 3月期入学試験 外国人留学生入学試験 外国人留学生対象 日本語学校指定校制推薦入学
入学金		200,000円	
		100,000円	本学及び東京女子大学短期大学部に在籍していた者
学費	授業料	760,000円	2013年度以降入学者 年額
		720,000円	2012年度以前入学者 年額
	教育 充実費	300,000円	国際英語学科 年額
		260,000円	国際英語学科以外の学科 年額
在籍料		260,000円	2013年度以降入学者 年額
		240,000円	2012年度以前入学者 年額

注 入学検定料は次の併願割引を適用することができる。

- (1)一般入学試験において2専攻又は3専攻を併願する場合、2専攻目からの検定料を10,000円とする。
- (2)知のかけはし入学試験の受験生(不合格者)が一般入学試験を受験する場合、一般入学試験の検定料を10,000円とする。

現代教養学部教授会規程

(2008年4月17日制定)

改正 2011年 1月20日
2015年 3月12日

(趣旨)

第1条 この規程は、東京女子大学学則第8条の2に基づき、現代教養学部教授会（以下「教授会」という。）に関する事項を定める。

(組織)

第2条 教授会は、教授、准教授及び講師をもって組織する。ただし、特任教育職員については、特任教育職員規程第7条第3項による。また、外国人契約教育職員については、外国人契約教育職員規程第10条第3項による。

2 前項の講師に嘱託講師を含まない。

第3条 教授会には、教授会の定めるところにより、教授、准教授及び講師以外の職員を加えることができる。

(審議事項)

第4条 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うにあたり審議し、意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業に関する事項

(2) 学位の授与に関する事項

(3) 前2号に掲げる事項のほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項

2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長又は学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長又は学部長の求めに応じ、意見を述べることができる。

(議長及び書記)

第5条 学部長は、教授会の議長となる。教授会には書記1名を置き、学部長がこれを委嘱する。

(開催)

第6条 教授会は、学部長が招集し、原則として月1回開催する。

(定足数及び審議)

第7条 教授会は、第2条に定める構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。

2 前項の構成員の定数には、海外研修中の者、休職中の者及び研究休暇中の者は加えない。

第8条 教授会は、第4条に定める事項について意見を述べるに当たり、特別の定めのある場合のほか、出席者の過半数の意見をもって教授会の意見とする。

第9条 専任の教育職員の採用及び昇任に関する教育研究業績の審査にかかわる事項は、第2条に定める構成員の定数の4分の3以上の投票を要し、投票数の3分の2以上の同意をもって教授会の意見とする。

(規程の改廃)

第10条 この規程の改廃は、教授会及び大学評議会の審議を経て学長がその意見を徴し理事会に提案して、理事会が決定する。

附 則 (2008年4月17日制定)

1 この規程は、2009年4月1日から施行する。

2 文理学部教授会及び現代文化学部教授会に関する規程(1951年6月1日制定)、文理学部教授会運営内規(1954年12月16日制定)及び現代文化学部教授会運営内規(1989年11月21日制定)は、文理学部及び現代文化学部廃止の時点で、これを廃止する。

附 則 (2011年1月20日改正)

この規程は、2011年4月1日から施行する。

附 則 (2015年3月12日改正)

この規程は、2015年4月1日から施行する。